

学則変更の趣旨等を記載した書類

目 次

ア	収容定員変更の内容	p. 2
イ	収容定員変更の必要性	p. 2
ウ	収容定員変更に伴う教育課程等の変更内容	p. 3
添付資料		
	資料 1 : 医学部医学科履修チャート	p. 5
	資料 2 : 医学部医学科教育課程等の概要	p. 6
	資料 3 : 令和 5 年度医学部入学定員増員計画 (写)	p. 14

医学部の収容定員変更の趣旨等を記載した書類

ア 収容定員変更の内容

信州大学医学部医学科の平成 20 年度以降の入学定員については、平成 20 年度に「新医師確保総合対策」に基づき平成 29 年度までの期限を付した 5 名の臨時定員増及び 5 名の恒久定員増を、平成 21 年度に「経済財政改革の基本方針 2008」に基づき 5 名の恒久定員増を、平成 22 年度に「経済財政改革の基本方針 2009」に基づき平成 31 年度までの期限を付した 3 名の臨時定員増を、平成 23 年度に「新成長戦略」に基づき平成 31 年度までの期限を付した 2 名の臨時定員増を、平成 25 年度に「新成長戦略」に基づき平成 31 年度までの期限を付した 5 名の臨時定員増をそれぞれ実施した。また、平成 29 年度を期限とする 5 名の入学定員について、平成 31 年度までの期限を付した再度の入学定員増を実施した。この平成 31 年度を期限とした 15 名の入学定員増について、令和 3 年度までの期限を付した再度の入学定員増を行い、その後、引き続いて、令和 4 年度までの期限を付した入学定員増を実施した。

今回、平成 4 年度を限度とする 15 名の入学定員増について、令和 5 年度までの期限を付した再度の入学定員増を行い、令和 5 年度の入学定員を再度の定員増を行わなかった場合の 105 名から 120 名に変更する。

これにあわせて、収容定員についても令和 5 年度までの期限を付した臨時の入学定員増を踏まえ、再度の定員増を行わなかった場合の 630 名から 645 名に変更する。

イ 収容定員変更の必要性

医師数の地域間格差は依然として大きな社会問題となっており、地方では診療科全般にわたって、住民が十分な医療を受けられない事態が生じている。

この事態に対応するため本学は長野県とも連携の上、医学部医学科の入学定員について上記のとおり増員を行ってきたところである。

県内の医師不足が続く長野県唯一の医学系大学である信州大学医学部は、県民に質の高い医療を将来にわたって提供するため、県と連携して医師不足の解消に向けた取り組みを行っているところではあるが、2019 年 2 月に医師偏在指標（暫定値）が示され、長野県は全国 38 位の医師少数県とされており、依然厳しい状況は続いている。このような状況を鑑み、本学への入学者数が県内医師確保に大きな影響を及ぼすことを踏まえ、今回、令和 4 年 8 月 5 日付、文部科学省高等教育局医学教育課からの事務連絡「令和 5 年度の医学部臨時定員増について」に基づき、入学定員 15 名の再度の定員増を申請する。

地域の医師確保という面では、医学部医学科卒業生の内、他県出身者を含めて約 50% 程度が長野県内に定着し地域医療に貢献してきた。県内高校出身者に至っては約 80% 程度の卒業生が卒業後も長野県内に定着して、地域の医療を支えている。また、今回増員を申請する 15 名については、学校推薦型選抜において長野県医学生修学資金の貸与を必須とすることを出願要件とする「地域枠」の定員とし、確実に長野県内に定着するよう入試を実施するとともに、長野県からの要請を踏まえて学校推薦型選抜全体の定員を引続き 25 名とする。このことから、今回の医学部医学科入学定員の再度の定員増に伴い、県内で定着し活躍する医師の供給につながることを期待できる。

ウ 収容定員変更に伴う教育課程等の変更内容

信州大学医学部医学科の教育・研究の理念・目標を達成するため、1年次生から6年次生までの全人的な一貫教育を行い、医師養成に相応しい知識レベル、技術レベル、態度レベルの修得を満たす講義、演習、実習等を行っている。

優れた医師となるためには、知識と技術の面では個別事項を身に付けるだけでなく、総合的に人の健康とその障害を理解すること、態度の面では病める人を救うことへの情熱、思いやり、優しさ、奉仕の心を養うこと、さらには未知の領域に挑戦する旺盛な知的好奇心と学問への探究心を持つことが必要である。

これらを身に付けるため、これまで1年次生と2年次生は共通教育科目（基盤系、教養系・専門基礎系）を中心に受講し、2年次生から専門科目が増え、3年次生以降は専門科目のみの履修となるよう教育課程を編成してきた。共通教育科目には選択科目もあるが、専門科目は全て必修である。具体的な科目区分の設定、授業科目は、資料のとおりである。

共通教育科目の授業は、人材育成の基盤となる教養教育と基礎教育を担う全学教育機構に所属する教員が主に行っている。専門科目の授業は、医学の各専門分野における研究及び臨床を行う医学科、大学院医学系研究科及び医学部附属病院に所属する教員が行い、研究資源を教育に有効活用するとともに、質の高い医師の養成に積極的に参画している。

さらに臨床実習の質保証（72週の期間確保）に向け、平成26年度には、4年次生後期から臨床実習（クリニカルクラークシップⅠ）の履修を可能とするようカリキュラム改革を行った。

また、上記取組と関連した本学の取組「150通りの選択肢からなる参加型臨床実習」が、文部科学省「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」事業「(B) グローバルな医学教育認証に対応した診療参加型臨床実習の充実」に採択されたことを受け、国際標準の臨床実習を行うための環境整備を行い、附属病院のみならず、長野県内外の教育協力病院（37施設）を診療参加型臨床実習の場として活用している。学生が最初から実地で患者を診察するシステムを構築するとともに、見学型から参加型の臨床実習への切り替えができるよう、教育協力病院においては1月に1病院1診療科に1名のみの派遣とし、各病院の診療チームに参加させることでより実践的な医師養成が図れるよう取り組んでいる。これにより卒前の臨床実習と卒後の初期研修とのシームレス化が図れるほか、学生が地域病院の診療チームに卒前から溶け込むことで、地域循環型の医師養成システムが自ずと形成され、長野県内で地域医療に従事する医師の増加につながっている。

医学部医学科の1年次生は前期24単位、後期24単位、2年次生では前期10単位、後期4単位を共通教育科目の履修の登録単位数の上限としている。また、他大学等の授業科目を履修しようとする学生又は外国の大学等に留学しようとする学生には、当該履修又は留学を教育上有益と認め、かつ、当該大学等と事前に協議の上、受入れが許可された場合にのみ認めることとしている。

卒業要件は、医学部医学科に6年以上在学して、共通教育科目34単位及び専門科目164

単位を取得する。

その他の取組として、医学科入学定員増の中でもTBL(team based learning)の少人数体制を維持するため、人数割や担当教員の負担のバランス等といった教育体制を見直し、適正化した。実施場所(教室)にも配慮し、多様な教育方法に対応するため実習室の改修を行った。また、学校推薦型選抜入学者3年生を対象として、平成28年度より行っている、地域病院・医療施設等の協力により地域での医療に関するニーズ、地域に根差す医療、医療現場におけるロールモデルを考察する「地域医療実習」を継続するとともに、「地域枠」入学者へのさらなる地域医療教育を実施している。

以上のとおり、教育課程の内容、教育方法及び履修指導方法については、収容定員を再度増員しても、全学の協力を得て現在の教員配置(実施体制)による教育を継続する。

医学部医学科履修チャート



※選択授業を除き全て必修

教育課程等の概要															
(医学部医学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	基盤系	学術リテラシー	1前	1			○				1			兼18	※演習
		小計（1科目）	—	1	0	0	—			0	0	1	0	0	兼18
	データサイエンスリテラシー	データサイエンスリテラシー	1前・後	1			○							兼2	メディア
		小計（1科目）	—	1	0	0	—			0	0	0	0	0	兼2
	統計	Rで学ぶ統計の基礎	1前		2		○							兼1	
		統計学の基礎	1前		2		○							兼1	
		質問紙調査入門	1後		2		○							兼1	
		統計学入門	1前		2		○							兼1	
		データサイエンス入門A	1前・後		2		○							兼1	
		データサイエンス入門B	1前		2		○							兼1	
		データサイエンス入門C	1後		2		○							兼1	
		データサイエンス入門A【EA】	1後		2		○							兼1	メディア
		小計（8科目）	—	0	16	0	—			0	0	0	0	0	兼5
	科学史	意外と長い人工知能の歴史	1前		2		○							兼1	
		科学と政治の日本戦後史【EA】	1前		2		○							兼1	メディア
		数と形の歴史をしてみよう	1前		2		○							兼1	
		論理とパラドクスの思想史【EA】	1前		2		○							兼1	メディア
		世界経済の歩み	1後		2		○							兼1	
		自然科学史	1後		2		○							兼11	オムニバス
		科学論	1後		2		○			1					
		Society 5.0の基盤技術の軌跡	1後		2		○							兼1	
		科学技術の進歩がもたらした人間社会の変革	1後		2		○							兼2	
		現代生物学史：分子遺伝学編	1後		2		○							兼1	
		生活者の視点から考えるSDGs	1後		2		○							兼4	オムニバス
		小計（11科目）	—	0	22	0	—			0	1	0	0	0	兼23
	現代社会論	大学生が会おう法律問題	1前		2		○							兼1	
		税法入門講義	1前		2		○							兼3	オムニバス
		人生100年時代のライフデザイン【EA】	1前		2		○							兼2	メディア・オムニバス
		山国信州の風土と暮らし（風土の中の衣食住）	1前		2		○							兼1	
		キャリア形成論Ⅰ【EA】	1前		2		○							兼4	メディア
		地域活性化システム論	1前		2		○							兼4	
		韓国の文化（映画で学ぶ）	1前		2		○							兼1	
		日本の屋根・信州の風土と暮らし	1後		2		○							兼1	
		キャリアデザイン入門	1後		2		○							兼1	
		キャリア形成論Ⅱ【EA】	1後		2		○							兼4	メディア
		新聞と私たちの社会（信濃毎日新聞社寄付講義）	1後		2		○							兼1	
		現代社会における人権	1後		2		○							兼1	
		韓国の文化（若者の世界）	1後		2		○							兼1	
		地域のトップリーダーを繋ぐ【EA】	1前		2		○							兼3	メディア
		ベンチャー起業入門	1前		2		○							兼2	
		小計（15科目）	—	0	30	0	—			0	0	0	0	0	兼18

健康	健康科学・理論と実践	1後	1			○								兼4	※実験・実習	
	小計 (1科目)	—	1	0	0	—		0	0	0	0	0	0	兼4		
言語 (1年次)	アカデミック・イングリッシュ・フェイズI (B) (上級)	1前	1			○								兼4		
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズII (B) (上級)	1後	1			○								兼4		
	クリティカル・リーディング I (上級)	1前	1			○								兼3		
	クリティカル・リーディング II (上級)	1後	1			○								兼3		
	中国語初級 (総合) I	1前		1		○								兼2		
	中国語初級 (総合) II	1後		1		○								兼2		
	中国語初級 (文法) I	1前		1		○								兼2		
	中国語初級 (文法) II	1後		1		○								兼2		
	中国語初級 (読解・会話) I	1前		1		○								兼2		
	中国語初級 (読解・会話) II	1後		1		○								兼2		
	ドイツ語初級 (総合) I	1前		1		○								兼2		
	ドイツ語初級 (総合) I 【EA】	1後		1		○								兼1	メディア	
	ドイツ語初級 (総合) II	1後		1		○								兼2		
	ドイツ語初級 (総合) II 【EA】	1前		1		○								兼1	メディア	
	ドイツ語初級 (文法) I	1前		1		○								兼2		
	ドイツ語初級 (文法) II	1後		1		○								兼2		
	ドイツ語初級 (読解・会話) I	1前		1		○								兼2		
	ドイツ語初級 (読解・会話) II	1後		1		○								兼2		
	フランス語初級 (総合) I	1前		1		○								兼1		
	フランス語初級 (総合) II	1後		1		○								兼1		
	フランス語初級 (文法) I 【EA】	1前		1		○								兼1	メディア	
	フランス語初級 (文法) II 【EA】	1後		1		○								兼1	メディア	
	フランス語初級 (読解・会話) I 【EA】	1前		1		○								兼1	メディア	
	フランス語初級 (読解・会話) I	1前		1		○								兼1		
	フランス語初級 (読解・会話) II 【EA】	1後		1		○								兼1	メディア	
	フランス語初級 (読解・会話) II	1後		1		○								兼1		
	ハングル初級 (総合) I	1前		1		○								兼1		
	ハングル初級 (総合) II	1後		1		○								兼1		
	ハングル初級 (文法) I	1前		1		○								兼1		
	ハングル初級 (文法) II	1後		1		○								兼1		
	ハングル初級 (読解・会話) I	1前		1		○								兼1		
	ハングル初級 (読解・会話) II	1後		1		○								兼1		
	スペイン語初級 (総合) I	1前		1		○								兼1		
	スペイン語初級 (総合) II	1後		1		○								兼1		
スペイン語初級 (文法) I	1前		1		○								兼2			
スペイン語初級 (文法) II	1前		1		○								兼2			
スペイン語初級 (読解・会話) I	1後		1		○								兼2			
スペイン語初級 (読解・会話) II	1後		1		○								兼2			
小計 (38科目)	—		4	34	0	—		0	0	0	0	0	0	兼16		
教養系	人文・社会	「右肩下がり」の時代を生き抜くための倫理学	1後		2		○							兼1		
		自己発見の方法 【EA】 【清泉女学院大学開講】	1後		2		○							兼1	メディア	
		世界の音楽	1前		2		○							兼1		
		映画史入門	1前		2		○							兼1		
		映像・人類学	1後		2		○							兼1		
		映像で見て読んで考えるアメリカ	1後		2		○							兼1		
		出版メディアと江戸文学	1前		2		○							兼1		
		日本文学概論	1後		2		○							兼1		
		フランス文学概論	1前		2		○							兼1		
		シャンソン文化史	1後		2		○							兼1		
		物語から読み解く中世英国人の世界	1後		2		○							兼1		
		比較文学への招待	1後		2		○							兼1		
		謎解き・日本語の歴史	1前		2		○							兼1		
		英語基礎 I (たてなおしの英語 I) 【EA】 【清泉女学院大学開講】	1前		2		○							兼1	メディア	
		英語基礎 II (たてなおしの英語 II) 【EA】 【清泉女学院大学開講】	1後		2		○							兼1	メディア	
		中世英語文献学入門	1後		2		○								兼1	
		言語学 I 【EA】 【長野県立大学開講】	1後		2		○								兼1	メディア
		絶対王政期フランスの制度と社会 【EA】	1前		2		○								兼1	メディア
		モノの世界史 【EA】	1前		2		○								兼1	メディア
		消費社会学入門 【EA】	1前		2		○								兼1	メディア
ジェンダー論 【EA】	1後		2		○								兼1	メディア		

教育と社会【EA】	1後	2	○							兼1	メディア
知っておくべき知的財産と研究倫理の基本	1前	2	○							兼1	
科学技術社会論	1前	2	○							兼1	
南米地域社会論	1後	2	○							兼1	
ジェンダー論(人権・ジェンダー・多様性)【EA】	1前	2	○							兼1	集中・メディア
臨床心理学概論【EA】	1前	2	○							兼1	メディア
明日を生きるための心理学 リスク社会と防災を学ぶ【EA】	1前	2	○							兼1	メディア
メディア心理学【EA】	1後	2	○							兼1	メディア
感情心理学への招待	1前	2	○							兼1	
現代教育を考える	1前	2	○							兼2	
グローバル人材論(「グローバル」マインド養成)	1後	2	○							兼2	
グローバル人材論(グローバルキャリアデザイン)	1前	2	○							兼2	
グローバルコミュニケーション論	1後	2	○							兼2	
グローバル人材論(ADVANCEDコース)	1前・後	2	○							兼2	集中
大学生から始めるキャリアデザイン	1前	2	○							兼2	
国際教養A	1前・後	2	○							兼2	集中
国際教養B	1前・後	2	○							兼2	集中
日本国憲法	1前・後	2	○							兼1	
日本国憲法【EA】	1前	2	○							兼1	メディア
法学入門	1前	2	○							兼1	
著作権法入門(JASRAC寄付講座)	1前	2	○							兼2	
現代社会における統治機構	1後	2	○							兼1	
戦後政策と公法	1後	2	○							兼1	
学生生活と刑法	1前	2	○							兼1	
マクロ経済学入門	1後	2	○							兼5	オムニバス
大学生が出会う経済・経営問題	1後	2	○							兼3	オムニバス
ミクロ経済学入門【EA】	1前	2	○							兼4	オムニバス・メディア
プログラミング入門	1後	2	○							兼1	
金融リテラシー	1後	2	○							兼2	
証券・投資から読む「生きる力・考える力」(藍澤證券寄付講座)	1前	2	○							兼1	
国・地方の経済・財政、地方創生等の現状と課題	1前	2	○							兼1	
Evidenceとは何か?経済学的思考への招待	1後	2	○							兼1	
経営組織論【EA】【長野県立大学開講】	1後	2	○							兼1	メディア
グローバルキャリアディベロップメント【EA】	1前	2	○							兼1	メディア
グローバルビジネスディベロップメント【EA】	1後	2	○							兼1	メディア
多文化融合論	1前	2	○							兼2	
フランス語圏の文化	1後	2	○							兼1	
アフリカ文化論	1後	2	○							兼1	
ドイツ語圏の文化(社会事情)	1前	2	○							兼2	
ドイツ語圏の文化(教育と文化)	1後	2	○							兼2	
韓国の文化(食文化)	1後	2	○							兼1	
スペイン語圏の文化(スペイン)	1前	2	○							兼1	
国際理解と多文化共生を考えるI	1前	2	○							兼1	
国際理解と多文化共生を考えるII	1後	2	○							兼1	
スペイン語圏の文化(ラテンアメリカ)	1後	2	○							兼1	
原文で読むドイツの日常と文化	1前	2	○							兼1	
原文で読むドイツの日常と文化【EA】	1前	2	○							兼1	メディア
原文で読む現代ドイツ事情	1後	2	○							兼1	
原文で読む現代ドイツ事情【EA】	1後	2	○							兼1	メディア
オンライン海外研修(マレーシア)【EA】	1前	2	○							兼2	集中・メディア
オンライン海外研修(ロシア)【EA】	1後	2	○							兼2	集中・メディア
比較哲学入門ゼミ	1後	2					○			兼1	
時について考えるゼミ	1後	2					○			兼1	
身体表現レクチャー&ワークショップゼミ	1前	2					○			兼1	
芸術教養音楽ゼミ	1後	2					○			兼6	オムニバス
芸術教養美術ゼミ	1後	2					○			兼3	オムニバス
西洋古典語の世界ゼミ	1後	2					○			兼1	
フランス文学ゼミ	1前	2					○			兼1	
シェイクスピアを読むゼミ	1後	2					○			兼1	
原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1後	2					○			兼1	
Translating with Computersゼミ	1前	2					○			兼1	
発信のためのやさしい英作文練習ゼミ【EA】	1前	2					○			兼1	メディア
感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ	1前・後	2					○			兼1	

異文化コミュニケーションゼミ	1前	2			○							兼1		
海外留学ゼミ	1後	2			○							兼1		
英語学び直しゼミ	1前・後	2			○							兼1		
翻訳を通してことばと文化を考えるゼミ	1前	2			○							兼1		
Top Level English(Written Communication)ゼミ	1前	2			○							兼1		
Top Level English(Oral Communication)ゼミ	1後	2			○							兼1		
古文書で学ぶ近世ゼミ	1前	2			○							兼1		
医療と社会ゼミ	1後	2			○							兼1		
課題解決インターンシップゼミ【EA】	1前	2			○							兼2	集中・メディア	
リアル・プロジェクトマネジメントゼミ【EA】	1後	2			○							兼2	集中・メディア	
新聞をつくろう！(MGプレス制作ゼミ)	1前	2			○							兼1		
テレビのメディアリテラシー (テレビ信州参与ゼミ)	1前	2			○							兼1		
グローバル人材 (多様性とコミュニケーション)ゼミ	1前	2			○							兼1		
イノベーション人材のための教養ゼミ	1後	2			○							兼3		
ストラテジー&リサーチ・リテラシーゼミ	1後	2			○							兼3		
身体心理学ゼミ	1前	2			○							兼1		
地域ブランド実践ゼミ	1後	2			○							兼4		
心理学思考法ゼミ	1前	2			○							兼1		
コミュニティの社会心理学ゼミ	1前	2			○							兼1	集中	
課題解決実践ゼミ	1後	2			○							兼3		
キャリアデザイン実践ゼミ	1後	2			○							兼3		
「考える」ゼミ	1前・後	2			○							兼1		
キャリアプランニング・ゼミ (キャリア形成論Ⅲ)	1前	2			○							兼4		
ストラテジー構築実践ゼミⅠ【EA】	1前	2			○							兼2	集中・メディア	
ストラテジー構築実践ゼミⅡ【EA】	1後	2			○							兼2	集中・メディア	
社会科学の方法ゼミ	1後	2			○							兼1		
政治学の名著を読むゼミ	1前	2			○							兼1		
共生のための人権研究ゼミ	1後	2			○							兼1		
労働法入門ゼミ	1後	2			○							兼1		
イノベーション・リテラシーゼミ【EA】	1前	2			○							兼2	集中・メディア	
企業経営ゼミ	1前	2			○							兼1		
松本市の魅力発見ゼミ-松本のフタバザンになろう-(松本市寄付講義)	1前	2			○							兼1		
フィールドワーク入門ゼミ	1前	2			○							兼1		
異文化研究ゼミ【EA】	1後	2			○							兼1	メディア	
アジアの中の日本ゼミ (南・中央アジア)	1前	2			○							兼1		
アジアの中の日本ゼミ (西・北アジア)	1後	2			○							兼1		
韓国ゼミ	1前	2			○							兼1		
日韓関係ゼミ	1後	2			○							兼1		
国際共修ICL-Channelsゼミ (日)【EA】	1前・後	2			○							兼1	集中・メディア	
国際共修ICL-Channelsゼミ (英)【EA】	1前・後	2			○							兼1	集中・メディア	
国際共修SU-COILゼミ A	1前	2			○							兼1	集中	
国際共修SU-COILゼミ B	1後	2			○							兼1	集中	
小計 (126科目)	—	0	252	0	—				0	0	0	0	0	兼108
自然・技術	数と形	1後	2		○							兼1		
	物理へのいざない	1後	2		○							兼11	オムニバス	
	身近な物理現象と先端応用	1前	2		○							兼1		
	教養としての物理学	1前	2		○							兼1		
	生活のなかの天文学	1前	2		○							兼1		
	観測天文学入門	1後	2		○							兼1		
	暮らしのサイエンス【EA】	1後	2		○							兼5	オムニバス・メディア	
	ニューバイオテクノロジー入門	1後	2		○							兼1		
	化学と材料の進歩が世界を変える【EA】	1前	2		○							兼13	オムニバス・メディア	
	生化学の基礎	1後	2		○							兼1		
	生活の中の化学	1前	2		○							兼1		
	食と微生物	1後	2		○							兼1		
	動物生命科学	1後	2		○							兼9	オムニバス	
	食と植物の文化論	1後	2		○							兼1		
	農環境保全学	1後	2		○							兼1		
	応用生物学への招待	1前	2		○							兼14	オムニバス	
	生態学入門	1後	2		○							兼1		
	自然災害と環境	1前	2		○							兼2		
	地球の素材 (産状・成分と色彩)	1前・後	2		○							兼1		
	電子情報システム工学入門	1前	2		○							兼1		

	グリーンテクノロジー	1前	2	○								兼10	オムニバス
	ネットワーク社会における情報科学	1前・後	2	○								兼1	
	情報学入門 (社会と情報システム) 【EA】	1前	2	○								兼2	メディア
	情報学入門 (プログラミング、ネットワーク) 【EA】	1後	2	○								兼2	メディア
	ライフクリエイター入門講義	1前	2	○								兼1	
	統計数学ゼミ I	1前	2		○							兼1	
	統計数学ゼミ II	1後	2		○							兼1	
	数理決定法入門ゼミ	1後	2		○							兼1	
	幾何ゼミ	1前	2		○							兼1	
	代数ゼミ	1後	2		○							兼1	
	伝えておきたい数学ゼミ	1後	2		○							兼1	
	幾何学入門ゼミ	1前	2		○							兼1	
	カオス体験ゼミ	1後	2		○							兼1	
	化学ゼミ	1後	2		○							兼1	
	生きものたちのふしぎ・多様性ゼミ	1前	2		○							兼2	
	脳の不思議を探るゼミ (認知神経科学入門)	1前	2		○							兼1	
	脳の不思議をもっと探るゼミ (認知神経科学入門)	1後	2		○							兼1	
	利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1前	2		○							兼1	
	遺伝学入門ゼミ	1後	2		○							兼1	
	おもしろ生物学ゼミ	1前	2		○							兼1	
	環境科学ゼミ	1前	2		○							兼1	
	技術とエネルギーの入門ゼミ	1後	2		○							兼3	
	ロボティクス実践ゼミ	1前・後	2		○							兼1	
	新聞で広げる社会の見方ゼミ (信濃毎日新聞社寄付講義)	1後	2		○							兼1	
	人工知能を知ろうゼミ	1前・後	2		○							兼1	
	アナログ再発見ゼミ	1前・後	2		○							兼1	
	情報社会論ゼミ	1後	2		○							兼1	
	プログラミング入門ゼミ	1前・後	2		○							兼1	
	Web制作ゼミ	1前・後	2		○							兼1	
	データから見る長野県ゼミ	1後	2		○							兼2	
	現代メディア・マーケティング入門ゼミ	1前	2		○							兼1	集中
	AIジェネラルスキル基礎ゼミ	1後	2		○							兼2	
	AIジェネラルスキル応用ゼミ	1前	2		○							兼2	
	アルゴリズムと付き合うゼミ	1前・後	2		○							兼1	
	高大接続におけるデータサイエンスゼミ	1前・後	2		○							兼1	
	データから白馬村の観光を考えるゼミ (ドコモ・白馬村連携講義)	1後	2		○							兼1	
	小計 (56科目)	—	0	112	0	—	0	0	0	0	0	兼96	
環境・健康	環境エネルギー政策論	1前	2		○							兼1	
	環境法入門	1後	2		○							兼1	
	再生可能エネルギー概論	1後	2		○							兼1	
	環境のためのナノカーボン、エネルギー材料、水処理	1後	2		○							兼4	オムニバス
	緑と水の保全学	1後	2		○							兼1	
	農山村と環境	1前	2		○							兼1	
	森林サイエンス	1前	2		○							兼1	
	環境と材料科学&生物科学	1前	2		○							兼10	オムニバス
	動物と人間社会	1後	2		○							兼1	
	環境保全論入門	1前・後	2		○							兼1	
	生物と環境	1前・後	2		○							兼1	
	熱帯雨林と社会	1前・後	2		○							兼1	
	環境社会学入門	1前	2		○							兼1	
	環境マインド実践基礎論	1後	2		○							兼3	
	自然環境と文化	1前	2		○							兼1	
	ネイチャーライティングのすすめ 【EA】	1前	2		○							兼1	メディア
	環境文学のすすめ 【EA】	1後	2		○							兼1	メディア
	ライフサイクルアセスメント入門	1前	2		○							兼1	
	自然環境政策概論	1前・後	2		○							兼1	
	都市環境論基礎	1後	2		○							兼1	
	共生社会のための障害学入門	1前	2		○							兼1	
	手話コミュニケーションと社会 【EA】	1後	2		○							兼2	メディア
	生活習慣と健康 【EA】 【佐久大学開講】	1前	2		○							兼1	メディア
人体のしくみと生活	1前	2		○							兼1		
私たちと放射線	1後	2		○							兼1		
人体の構造と働き	1前	2		○							兼1		

	土壌学ゼミ	1前		2									兼1	
	生態資源論ゼミ	1前・後		2									兼1	
	アジア開発環境論ゼミ	1前・後		2									兼1	
	ドイツ環境ゼミ	1後		2									兼1	集中
	生物多様性保全ゼミ	1前・後		2									兼1	
	環境心理学ゼミ	1前		2									兼1	
	Low Energy Building (省エネルギー住宅) ゼミ	1後		2									兼1	
	環境リーダーシップ入門ゼミ	1前・後		2									兼1	
	環境マネジメント入門ゼミ	1前・後		2									兼1	
	自然活動論ゼミ	1前		2									兼1	
	自然と人間を考えるゼミ	1後		2									兼1	
	臨床検査を体験するゼミ	1後		2									兼2	
	障害者支援の理論と実践を学ぶゼミ(ノートテイカー養成演習)	1前		2									兼2	
	インクルーシブ教育ゼミ(アウトドア:夏)	1前		2									兼1	
	インクルーシブ教育ゼミ(アウトドア:冬)	1後		2									兼1	
	長寿県信州と社会ゼミ	1後		2									兼1	
	スポーツ活動論ゼミ	1前		2									兼1	
	アウトドアスポーツ活動論ゼミ	1後		2									兼1	集中
	身体運動科学ゼミ	1前		2									兼1	
	スポーツサポートゼミ	1後		2									兼1	
	環境マインド実践ゼミ I	1前		2									兼2	集中
	環境マインド実践ゼミ II	1後		2									兼2	集中
	ソフトボール	1前		1							○		兼1	
	バドミントン	1前		1							○		兼1	
	インクルーシブスポーツ	1後		1							○		兼1	
	ターゲットスポーツ	1前		1							○		兼1	
	スポーツボウリング	1後		1							○		兼1	
	コーディネーションエクササイズ	1前		1							○		兼1	
	ニュースポーツ	1前		1							○		兼1	集中
	剣道	1前		1							○		兼1	
	テニス	1前		1							○		兼1	
	サッカー	1前		1							○		兼1	
	バレーボール	1前		1							○		兼1	
	バスケットボール	1後		1							○		兼1	
	サバイバル活動	1前		1							○		兼1	集中
	アウトドアの達人	1前		1							○		兼2	集中
	レジャースポーツ	1前		1							○		兼1	集中
	スクーバダイビング	1後		1							○		兼2	集中
	トレッキング	1前		1							○		兼2	集中
	スポーツフィッシング	1前		1							○		兼1	集中
	信大マラソン	1前		1							○		兼1	集中
	ゴルフ	1前		1							○		兼2	集中
	スノー・スポーツ	1後		1							○		兼11	集中
	アウトドアマスター I	2前		1							○		兼4	集中
	アウトドアマスター II	2前		1							○		兼4	集中
	ゴルフマスター I	2前		1							○		兼4	集中
	ゴルフマスター II	2前		1							○		兼4	集中
	小計 (73科目)	—	0	121	0	—	0	0	0	0	0	0	兼61	
専門基礎系	言語 (2年次)													
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ (上級)	2前	1			○							兼3	
	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅣ (上級)	2後	1			○							兼3	
	中国語中級 I	2前		1		○							兼2	
	中国語中級 II	2後		1		○							兼2	
	ドイツ語中級 I	2前		1		○							兼1	
	ドイツ語中級 II	2後		1		○							兼1	
	フランス語中級 I	2前		1		○							兼1	
	フランス語中級 II	2後		1		○							兼1	
	ハングル中級 I	2前		1		○							兼1	
	ハングル中級 II	2後		1		○							兼1	
スペイン語中級 I	2前		1		○							兼1		
スペイン語中級 II	2後		1		○							兼1		
	小計 (12科目)	—	2	10	0	—	0	0	0	0	0	0	兼8	

	基礎科学	微分積分学Ⅰ	1前	2		○								兼2		
		微分積分学Ⅱ	1後	2		○								兼1		
		力学	1前	2		○								兼2		
		電磁気学	1後	2		○								兼2		
		生物学A	1前	2		○								兼1		
		生物学B	1後	2		○								兼1		
		小計(6科目)	—	2	10	0	—		0	0	0	0	0	兼6		
専門科目		医学概論Ⅰ	1通	2			○		2	1	2	1		兼5	※演習・オムニバス・英医(一部)	
		医学概論Ⅱ	2後	1				○				1				
		ヒト生物学Ⅰ	1前	1			○						2		オムニバス・メディア	
		ヒト生物学Ⅱ	1後	1			○						1		メディア	
		人体の構造	1後	3			○		1	1			3		兼1	共同・オムニバス
		生化学	1前	2			○		3	1			3			オムニバス
		ゲノム・染色体・遺伝子	1後	2			○		1			3	1		兼5	オムニバス・英医(一部)
		発生学総論/再生医学	1後	2			○		1				2			オムニバス
		解剖学	2前	8			○		2	2	2		10		兼2	※演習・オムニバス・英医(一部)
		薬理学総論	2前	2			○		3	1						オムニバス・英医(一部)
		病理学総論	2後	2			○		3						兼1	オムニバス
		感染症	2後	3			○		5	2	1		6		兼3	オムニバス・英医(一部)
		免疫・アレルギー	2後	3			○		8	3	3		2		兼4	オムニバス・メディア
		消化器	2後	3			○		6	5	5		11		兼2	オムニバス・英医(一部)
		循環器	2後	4			○		7	3	1		5		兼5	オムニバス・英医(一部)
		腎・泌尿器	3前	3			○		5	1	1		2			オムニバス
		糖尿病・内分泌・代謝	3前	3			○		7		1		2			オムニバス
		乳腺・産科・婦人科	3前	3			○		6		1		2			オムニバス
		精神	3後	1.5			○		3				2			オムニバス
		境界医療・老年医学	3後	2			○		3		1		2			オムニバス
		神経	3前	3			○		5	1	1		2			オムニバス
		運動器(筋骨格)	3前	1.5			○		4	1			2			オムニバス
		呼吸器	3後	3			○		5		1		2			オムニバス
		視覚器	3前	1			○		1		1		2			オムニバス
		頭頸部	3前	1			○		5				2			オムニバス
		皮膚	3前	1			○		1	1	1		2			オムニバス
		成長と発達	3後	3			○		4		1		2			オムニバス
		心理学・行動科学	3前	1			○		1		1		2			オムニバス
		血液	3後	1.5			○		6	1			2			オムニバス
		腫瘍	3後	2.5			○		11				2			オムニバス
		症候・症例からのアプローチと臨床検査	4前	2.5			○				1	2	2			オムニバス
		移植	4前	0.5			○		5				2			オムニバス
		救急・麻酔・外傷	4前	1.5			○		4				2			オムニバス
		基礎医学実験	3後	2				○	7							オムニバス
		遺伝医療・ゲノム医療	4前	1.5			○		1			3	2			オムニバス
		医療安全・医療情報・放射線	4前	0.5			○		1	1	1		2			オムニバス
		地域医療	4前	0.5			○			1	1		2			オムニバス
		社会医学	4・6前	4			○		3	1	1		2			オムニバス
		クリニカルクラークシップⅠ	4後～5前	36				○	25	7	12		32			オムニバス
		クリニカルクラークシップⅡ	5後～6前	36				○	25	7	12		32			オムニバス
		臨床実習前集中講義	4前	2			○				1		2			※演習・オムニバス
		合同チーム医療演習	4後	1				○				1	2			
		新入生ゼミナール	1前	2				○				1	2			
		選択授業	4前	4			○		1		1		2			※演習・オムニバス
	小計(44科目)	—	164	0	0	—		40	34	52	142	0	兼25			
合計(392科目)			—	175	607	0	—	40	34	52	142	0	兼390			
学位又は称号		学士(医学)			学位又は学科の分野			医学関係								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>1. 共通教育科目 35単位以上</p> <p>(1) 基盤系 11単位以上</p> <p>①学術リテラシー【※1】 1単位必修</p> <p>②データサイエンスリテラシー 1単位必修</p> <p>③「統計」「科学史」「現代社会論」 の3区分のうち、2区分から 4単位選択</p> <p>④健康 1単位必修</p> <p>⑤言語（1年次）英語 4単位必修</p> <p>初修外国語【※2】</p> <p>(2) 教養系 1・2年次で12単位以上</p> <p>①「人文・社会」「自然・技術」「環境・健康」 次の要件をすべて満たすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3区分から、それぞれ2単位以上 ・「環境・健康」のうち、「環境科学」2単位必修 ・演習形式の授業を2単位必修【※1】 <p>(3) 専門基礎系 12単位以上</p> <p>①言語（2年次）英語 4単位必修</p> <p>初修外国語【※2】</p> <p>②基礎科学 2単位必修</p> <p>指定する科目から 6単位選択</p>	1 学年の学期区分	2期
<p>2. 専門科目 164単位</p>	1 学期の授業期間	15週
<p>3. 履修科目の登録の上限</p> <p>①1年次前後期共に24単位（専門科目除く）</p> <p>②2年次前期10単位，後期4単位（前後期共に専門科目除く）</p> <p>※1 修得できなかった場合は、他の共通教育科目から、各区分で指定した 単位数を超えて修得した単位を充てること。</p> <p>※2 初修外国語（中国語・ドイツ語・フランス語・ハンガール・スペイン 語）を修得した場合、4単位まで教養系の単位に参入する。</p>	1 時限の授業時間	1・2年次90分、3年次以降60分

令和 5 年度
医学部入学定員増員計画

信大経企第 0059 号
令和 4 年 8 月 22 日

文部科学省高等教育局長 殿

国立大学法人信州大学長
中 村 宗 一 郎（公印省略）

「地域の医師確保等の観点からの令和 5 年度医学部入学定員の増加について（令和 4 年 8 月 10 日付け文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

< 連絡先 >

責任者連絡先	職名・氏名	信州大学経営企画部経営企画課主査 市川 陽一
	TEL	0263-37-2122
	FAX	0263-37-3484
	E-mail	kikaku_gakuji@gm.shinshu-u.ac.jp

大学名	国公立
信州大学	国立

1. 現在(令和4年度)の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
120			720



(収容定員計算用)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
(ア)入学定員	120	120	120	120	120	120	720
(イ)2年次編入学定員							0
(ウ)3年次編入学定員							0
計	120	120	120	120	120	120	720

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和5年度の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
105			630



(収容定員計算用)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	計
(ア)入学定員	105	105	105	105	105	105	630
(イ)2年次編入学定員							0
(ウ)3年次編入学定員							0
計	105	105	105	105	105	105	630
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

3. 令和5年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
120			645



(収容定員計算用)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	計
(ア)入学定員	120	105	105	105	105	105	645
(イ)2年次編入学定員							0
(ウ)3年次編入学定員							0
計	120	105	105	105	105	105	645
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

増員希望人数 15



(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増(地域枠)	15
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増(研究医枠)	
計	15

1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数

(1) 対象都道府県名及び増員希望人数

	都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県	長野県	15
大学所在地以外の都道府県		
計		15

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R3地域枠定員 (※1)	R3貸与者数 (※2)	R4地域枠定員 (※1)	R4貸与者数 (※2)	R3とR4の貸与者数のうち多い方の数
長野県	15	15	15	15	15
					0
					0
					0
					0
計	15	15	15	15	15

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和5年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置

1-1. 地域枠学生の選抜

① 令和3年度に実施した地域枠学生(令和4年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
				うち臨時定員分				
学校推薦型選抜Ⅱ(地域枠)	(i)学校推薦型選抜	別枠(先行型)	15	15	大学入学共通テストの成績並びに面接、調査書及びその他出願書類(面接の参考資料として活用)の結果を総合して行う。	(出願要件) 長野県内にある高等学校を令和2年4月1日から令和4年3月31日までに卒業した方又は卒業見込みの方。 各高等学校からの推薦は、原則として7人以内。 (推薦要件) 長野県の医療を支える医師となる強い意志を持ち、人物が優秀で、高等学校の学習成績概評が(A)又はA段階に属し、学校長が責任を持って推薦できる方で、令和4年度大学入学共通テストを受験し、合格した場合に入学することを確約できる方。 <地域枠> 上記の要件を満たすとともに、長野県医学生修学資金の貸与を受け、かつ、医師免許取得後、長野県が指定する医療機関において従事することを確約する「説明事項確認書」及び「確約書」を提出する方。	R1	出願要件欄に推薦要件も併せて記載。
合計			15	15				

(※1) 貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

② 令和4年度に実施する地域枠学生(令和5年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。

また、参考としてPRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
				うち臨時定員分				

学校推薦型選 抜Ⅱ(地域枠)	(i)学校推薦型 選抜	別枠(先行型)	15	15	<p>大学入学共通テストの成績並びに個別試験等(面接、調査書及びその他出願書類(面接の参考資料として活用))で選考する。</p> <p>(出願要件) 長野県内にある高等学校を令和3年4月1日から令和5年3月31日までに卒業した方又は卒業見込みの方。 各高等学校からの推薦は、7人以内。 (推薦要件) 長野県の医療を支える医師となる強い意志を持ち、人物が優秀で、高等学校の学習成績概評が(A)又はA段階に属し、学校長が責任を持って推薦できる方で、令和5年度大学入学共通テストを受験し、合格した場合に入学することを確約できる方。 <地域枠> 上記の要件を満たすとともに、長野県医学生修学資金の貸与を受け、かつ、医師免許取得後、長野県が指定する医療機関において従事することを確約する「説明事項確認書」及び「確約書」を提出する方。</p>	R1	出願要件欄に推薦要件も併せて記載。
合計			15	15			

(※1) 貴大学において、PRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)に記載の内容(貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容)をご記入ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

1-2. 教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要(令和5年度)について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次「医学概論Ⅰ」の中で長野県の地域医療と大学の取り組みについて学んでいる。3年次「地域医療」の講義では地域の視点の重要性や問題点とその対策についての認識を深めている。5年生後期から行う臨床実習「クリニカルクラークシップⅡ」では県内外の教育協力病院での参加型臨床実習を通じて将来働く地域病院の現状について理解を深めている。また、学校推薦型選抜入学者を対象に3年次8月に「地域医療実習」を実施し、地域の病院・施設での実習を通じて地域での医療に関するニーズ、地域に根差す医療、医療の現場におけるスケールモデルについて見て感じて考察している。

(参考:記入例)

1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和4年度からは、■■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②(過去に地域枠を設定したことがある場合)これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成17年度入試より県内枠推薦入試を実施してきたが、平成20年度入試から臨時定員増を受け推薦入試を実施しており、臨床実習や地域医療実習等の取組みを行ってきた。平成31年度までは修学資金の貸与者およびそれに伴う県内での勤務を必須としていなかったが、平成25年度から令和3年度までに卒業した118名のうち、102名が県内病院を研修病院として選択し地域医療に貢献している。

(参考:記入例)

平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■■などの取組を行ってきた。令和4年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容(正規科目)について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修/選択の別		講義/実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1	医学概論Ⅰ	全員	必修	必修	講義	2	H21以前
3	地域医療	全員	必修	必修	講義	0	H25
4～6	臨床実習	全員	必修	必修	実習	59.75	H27

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。(地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修/選択の別を「選択」とご記載ください。 ※空欄がある場合は、何も記入せずそのままにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例:○週間)	プログラムの概要(1~2行程度)	開始年度
3	地域医療実習	地域枠学生	信州医師確保総合支援センター 信大分室と地域病院・施設との 実施先の協議	3日間	地域での医療に関するニーズ, 地域に根差す医療, 医療の現場におけるロールモデルについて見て感じて考察する。	H28
3	自主研究演習	全員	なし	1ヵ月	希望者を対象に。地域住民との交流と実習を通じて地域医療マインドを醸成する。	H26
1, 2, 3	地域枠セミナー	地域枠学生	信州医師確保総合支援センター 信大分室との協働	1回/月	地域医療をテーマとした学習会と講演会	R2

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。(令和4年度以前から継続する取組を含む)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)	開始年度

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

信州大学

令和4年度学生募集要項

学校推薦型選抜 医学部医学科



SHINSHU UNIVERSITY

新型コロナウイルス感染症の影響により本要項の記載内容を変更せざるを得ない状況となった場合は、ホームページでお知らせしますので、必ず最新の情報を確認してください。

信州大学入試情報ポータル：https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/



医学部医学科 (<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/>)

1. 入学者受入れの方針

信州大学医学部医学科では次のような学生を求めています。

		該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
1.	医師となる明確な目的意識を持っている			○
2.	大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語で学習したことを身につけ、医学を学んでゆくにあたって必要な基礎学力がある	○	○	
3.	医師となるのにふさわしい協調性、決断力、積極性を持っている		○	○
4.	病める人を救う情熱、思いやりと奉仕の心、倫理観を持っている			○
5.	将来の人類のために創造的な医学研究を志向するために必要な思考力・判断力の素養と探究心を持っている		○	○

《大学入学までに履修すべき教科・科目など》

国語	十分な読解力、思考力、表現力、会話能力
地理歴史 公民	刻々と変化していく社会情勢に対応していくための基礎知識と社会的素養
数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bについての十分な知識・技能と数学的思考
理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎の3科目、及び物理、化学、生物から2科目以上についての知識と科学的な思考力
英語	十分な読解力、表現力、会話能力

本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、以下に示す入学試験を実施します。

2. 募集人員

推薦要件	募集人員		入学定員
	学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを課す)		
地元出身者枠	10		120
地域枠	15		
計	25		

※地元出身者枠合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を前期日程の募集人員に加えます。

3. 推薦要件及び出願要件

推薦要件	大学入学共通テスト	推薦できる人数上限	募集枠※	出願資格及び出願要件		
				卒業(見込)年月日	評定・成績	資格・履修科目・課外活動・条件等
地元出身者枠	課す 「5教科7科目」	合計7名	県内のみ	令和2年4月1日 ～ 令和4年3月31日	学習成績概評 ①又はA段階	無
地域枠	課す 「5教科7科目」		県内のみ	令和2年4月1日 ～ 令和4年3月31日	学習成績概評 ①又はA段階	要件有

※ 募集枠欄表記の意味については、次のとおりです。
「県内のみ」：長野県内高等学校の推薦のみを対象としています。

(1) 推薦要件

<地元出身者枠>

次の出願要件に該当し、長野県の医療を支える医師となる強い意志を持ち、人物が優秀で、高等学校の学習成績概評が④又はA段階に属し、学校長が責任を持って推薦できる方で、令和4年度大学入学共通テストを受験し、合格した場合に入学することを確約できる方とします。

<地域枠>

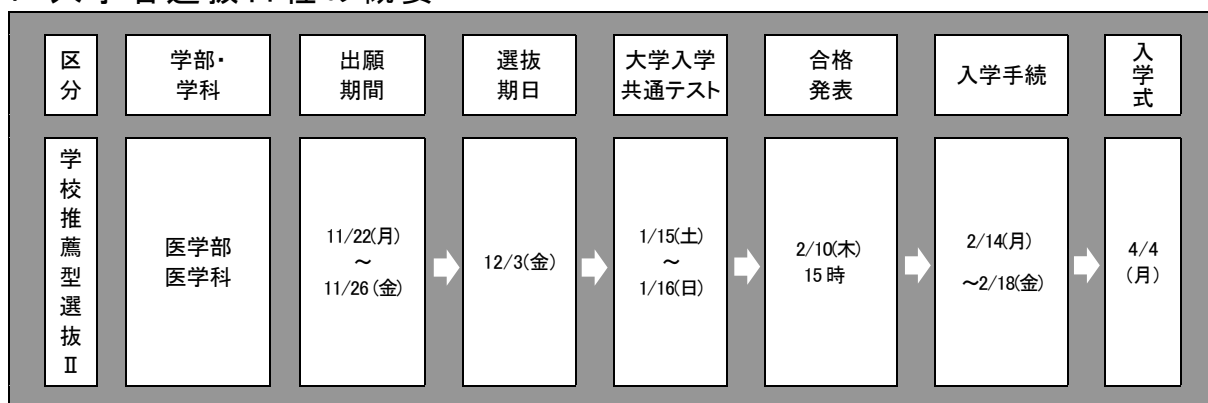
上記の要件を満たすとともに、長野県医学生修学資金の貸与を受け、かつ、医師免許取得後、長野県が指定する医療機関において従事することを確約する「説明事項確認書」及び「確約書」を提出する方とします。

※ 地元出身者枠、地域枠の併願が可能です。併願を希望する受験者は、出願の際、第1希望、第2希望の順位付けをしてください。併願を希望しない受験者は第1希望のみで出願してください。なお、出願後の変更は一切認めません。

(2) 出願要件

長野県内にある高等学校を令和2年4月1日から令和4年3月31日までに卒業した方又は卒業見込みの方
各高等学校からの推薦は、原則として7人以内とします。

4. 入学者選抜日程の概要



※ インターネット出願登録サイトへの登録及び入学検定料の支払いは、出願期間の一週間前からです。

5. 出願手続

(1) 出願期間及び提出先・問い合わせ先

① 出願期間(書類提出期間)

令和3年11月22日(月)～11月26日(金)(必着)

※ インターネット出願登録サイトへの登録及び入学検定料の支払いは11月15日(月)から可能です。

② 提出先・問い合わせ先

住所：松本市旭3-1-1 電話：0263-37-3419

(注) インターネット出願登録サイトへの登録だけでは出願手続は完了しません。
出願期間内に必要書類を郵送することで完了します。

なお、入学検定料を誤って二重に支払った場合又は支払ったが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、本人の請求により支払われた入学検定料（二重に支払った場合は重複して支払われた分）の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページをご覧ください。（入試情報ポータル／入学検定料返還手続 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）

- ⑦ 提出された書類等に虚偽があった場合には、入学許可を取り消します。
- ⑧ 書類等の提出後、受信場所（志願者連絡先）を変更した場合は、直ちに医学部医学科入試事務室に届け出てください。

(6) 受験票

① 受験票の発行

受験番号確定後にインターネット出願登録サイトからダウンロードできます。システム上で登録された電子メールアドレスへ受験番号お知らせメールを送信しますので、必ず確認のうえ印刷してください。（白黒印刷可）

なお、印刷した受験票は、**試験当日に必ず持参**してください。

※受験番号お知らせメールに記載のURLから<受験者心得>にアクセスし、医学部医学科の注意事項を印刷・熟読のうえ、**試験当日に必ず持参**してください。

※受験番号お知らせメールが出願期間後1週間経過しても届かない場合は、速やかに医学部医学科入試事務室に問い合わせてください。

② 受験票の保管

「大学入学共通テストの受験票」は入学手続の際に必要となり、また「本学の受験票」は入学手続や入試情報開示請求に必要となります。

6. 選考方法

令和4年度大学入学共通テストにおいて、**本学部（学科）が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、学校推薦型選抜を受験しても合格者とはなりません。**

下表の受験科目を志願者自身でチェックして、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで、出願するようにしてください。

〔 選 考 方 法 〕					該当する「学力の3要素」		
大学入学共通テスト	教科	科目	受験を要する科目等	配点	知識・技能	思考力 ・判断力 ・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
	国語	「国語」	左の科目	200			
地理歴史	「世界史B」,「日本史B」, 「地理B」	左の7科目から1科目選択 ※1	100				
公民	「現代社会」,「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」						
数学	「数学Ⅰ・数学A」	左の科目	100				
	「数学Ⅱ・数学B」	左の科目	100				
理科	「物理」,「化学」,「生物」	左の3科目から 2科目選択	200				
外国語	「英語」 ※2	左の科目	200				
合 計				900			
個別試験等	教科等	科目等		配点			
	その他	面接 ※3		段階 評価		○	○
調査書及びその他出願書類(面接の参考資料として活用)		○	○		○		

【大学入学共通テスト】欄

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目を受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

※2 「英語」はリスニングを課します。

英語は「リーディング」（100点満点）と「リスニング」（100点満点）の得点をリーディング得点とリスニング得点の比率を4：1として200点満点に換算して利用します。ただし、リスニングを免除された方については、リーディングの得点を200点満点に換算して利用します。

【個別試験等】欄

※3 複数の面接員により受験者1人ずつの個人面接を行います。

7. 採点・評価基準

大学入学共通テストの成績並びに面接、調査書及びその他出願書類（面接の参考資料として活用）の結果を総合して行います。

なお、勉学意欲と医学への動機付けがあり、医学科が求めている人物であるかどうかを総合的に評価します。

8. 合否判定基準

大学入学共通テストの成績並びに面接、調査書及びその他出願書類（面接の参考資料として活用）の結果を総合して判定します。

ただし、大学入学共通テストの成績が、本学の定める基準（合計点900点満点の80%）以上であった者から合格者を決定します。

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

合否判定は、判定結果が上位の者から判定を行います。併願を希望した受験者は第1希望の枠から優先して合格者とし、第1希望が定員に達していた場合には第2希望にて合否を判定します。併願を希望していない受験者は第1希望の枠のみで合否を判定しますので、第1希望が定員に達していた場合には不合格となります。

9. 選抜期日及び時間

期 日	試 験 科 目
	面 接
令和3年12月3日（金）	9:00～

※ 受験の際は、受験票を必ず持参してください。

10. 合格発表

令和4年2月10日（木）15時

同日中に合格者あてに合格通知書と入学手続書類を、学校長あてに合否結果文書を送付します。（不合格の方には通知しません。）

また、信州大学ホームページ（入試情報ポータル（https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/））に合格者受験番号を掲載します。

なお、電話やメール等による合否の問い合わせには、応じられません。

11. 入学手続

合格者は、下記の入学手続期間内に「銀行振込」により入学料を納入するとともに、**郵送**により必要な書類を提出してください。封筒の表には「入学手続書類在中」と朱書し、「簡易書留速達郵便」で手続きをしてください。

なお、詳細については、合格通知書に同封しお知らせしますので、必ずご覧ください。

信州大学

令和5年度入学者選抜要項



SHINSHU UNIVERSITY

新型コロナウイルス感染症の影響により本要項の記載内容を変更せざるを得ない状況となった場合はホームページでお知らせしますので、必ず最新の情報を確認してください。

信州大学入試情報ポータル https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/



医学部医学科 令和5年度入学定員増の予定（構想中）

医学部医学科において、令和5年度に向けた入学定員の増員を計画しています。

医学部医学科では、新医師確保総合対策に基づき、令和4年度まで入学定員の臨時増を行ってまいりました。

医学科の入学定員については平成21年4月入学から5名増員し、平成22年4月入学から3名、平成23年4月入学から2名、平成25年4月入学から5名増員して、合計120名となっていました。この増員は、医師不足が深刻な地域や診療科に対して、地域への医師の定着と地域の医療に従事する医師数の増加を図るため、国に対して入学定員の増員を申請し合計15名の増員が認められたものです。

令和5年度も、これを継続して入学定員120名を維持する計画を立てており、文部科学省に申請を行う予定です。

本要項では、要項作成時点（令和4年7月）での令和5年度入学定員105名を記載していますが、申請が認められた場合、入学定員は120名に増員され、募集人員は次表のとおり、学校推薦型選抜Ⅱの募集枠及び推薦要件は60ページに示すとおり変更されます。

入学定員の増員が実現した場合でも、教科・科目等は変更ありません。

ただし、この計画及び募集人員は本要項を作成する時点（令和4年7月）の予定ですので、変更する場合があります。出願前に学生募集要項やホームページで必ず確認してください。

学部	学科	入学定員	募 集 人 員									
			一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		帰国生徒 選抜	社会人 選抜	私費外国 人留学生 入試	
			前期日程	後期日程	I	II	I	II				
医学部	医学科	120	95	—	—	—	—	—	25	—	—	若干
	計	263	198	12	—	—	—	—	53	—		
合 計		1,978	1,236	403	(12)	12	4	(9)	185	138		

3. 医学部医学科（学校推薦型選抜Ⅱ）

【予告】

医学部医学科の入学定員は令和2年度より「地域枠」を設置し臨時的に定員増（105名から120名）を行ってきました。このたび、臨時増員期間が終了するため、令和5年度入試においても引き続き当該増員枠（地域枠15名）の認可申請を予定しています。この申請が認可された場合は、以下の網掛け部分を含めた内容になります。詳細については9ページをご確認ください。

◆ 募集枠及び募集人員

地元出身者枠	10人
地域枠	15人（認可申請予定）

◆ 推薦要件

地元出身者枠

次の出願要件に該当し、長野県の医療を支える医師となる強い意志を持ち、人物が優秀で、高等学校の学習成績概評がA又はA段階に属し、学校長が責任を持って推薦できる方で、令和5年度大学入学共通テストを受験し、合格した場合に入学することを確約できる方とします。

地域枠

上記の要件を満たすとともに、長野県医学生修学資金の貸与を受け、かつ、医師免許取得後、長野県が指定する医療機関において従事することを確約する「説明事項確認書」及び「確約書」を提出する方とします。

※ 地元出身者枠、地域枠の併願が可能です。併願を希望する受験者は、出願の際、第1希望、第2希望の順位付けをしてください。併願を希望しない受験者は第1希望のみで出願してください。なお、出願後の変更は一切認めません。

◆ 出願要件

長野県内にある高等学校を令和3年4月1日から令和5年3月31日までに卒業した方又は卒業見込みの方
各高等学校からの推薦は、7人以内とします。

◆ 出願期間

令和4年11月15日（火）～ 11月21日（月）（必着）

◆ 選抜期日及び試験地

令和4年12月2日（金） 松本キャンパス

◆ 合格発表日

令和5年2月9日（木）

◆ 入学手続期間

令和5年2月13日（月）～ 2月17日（金）（必着）

◆ 選考方法

【選考方法】					該当する「学力の3要素」		
大学入学共通テスト	教科	科目	受験を要する科目等	配点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を～学習する態度
	国	国	左の科目	200			
地歴	世B,日B,地理B	左の7科目から1科目選択 ※1	100				
公民	現社,倫,政経,倫・政経		100				
数	数Ⅰ・数A	左の科目	100				
	数Ⅱ・数B	左の科目	100				
理	物,化,生	左の3科目から2科目選択	200				
外	英	左の科目	200				
合計				900			
個別試験等	教科等	科目等		配点			
	その他	面接		段階評価		○	○
調査書及びその他出願書類(面接の参考資料として活用)			○		○	○	

【大学入学共通テスト】欄

「外国語（英語）」については、10ページを参照してください。

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目を受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

2 0 2 2 

Syllabus

授業計画

信州大学
医学部医学科

開講年度：2022

科目名	医学概論 I	題目 (副題)	早期体験 医学の歩みと未来を考える
担当教員、教員連絡先内線	森 淳一郎 田中 直樹	森淳一郎 (5821)	
学年、講義期間、曜日・時限	1年次 通年	月曜, 3時限	
単位数、講義室	2 単位	医学科第2実習室 旭総合講義室AB 医学科第1講義室 医学科第2講義室	
授業で得られる「学位授与の方針」要素	<ul style="list-style-type: none"> ・温かい人間性や高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の健全な発展のために行動できる。 ・医師としての高い見識と誠実な態度を身につけ、病める人を救う強い情熱を持っている。 ・患者やその家族と十分な意思の疎通ができ、医療のみならず保健や福祉の関係者と良好な関係を築くことで、チーム医療を推進する能力を持っている。 		
臨床実習前の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医学・医療の歴史的な流れ、臨床推論や生と死に係る倫理的問題、各種倫理に関する規範を概説できる。 ・患者の基本的権利、自己決定権の意義、患者の価値観、インフォームドコンセントなどの意義と必要性を説明できる。 ・患者のプライバシーに配慮し、守秘義務の重要性を説明できる。 ・必要な課題を発見し、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な解決方法を見出すことができる。 ・講義、教科書、検索情報などを基に、自らの考えを示すことができる。 ・必要最低限の病歴を聴取し、基本的な身体診察を行うことができる。 ・コミュニケーションの方法と技能およびその及ぼす影響を概説できる。 ・良好な人間関係を築くことができる。 ・患者・家族に共感することの重要性について概説できる。 ・災害医療を説明できる。 ・研究は医学・医療の発展や患者の権利の増進のために行われることを説明できる。 ・生命科学の講義や実習から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断の深化につなげることができる。 ・生涯学習の重要性を説明でき、継続的学習に必要な情報を収集できる。 ・信州の医療圏の特徴を説明できる。 		
授業のキーワード	<p>医学概論講義：科学と医術、医学史、健康、倫理、コミュニケーション、医療システム、医療経済、医療と安全、医師の使命、地域医療、早期体験実習：医療・介護・福祉、高齢者、重症心身障害者、知的障害者、ノーマライゼーション、人間の尊厳、信州、フィールド学習</p> <p>信州大学の基礎研究を知る</p> <p>自分の取り得るキャリアについて知る。</p> <p>実務経験のある教員による授業科目</p>		
一般学習目標GIO (期待される学習効果)	<p>医学概論講義：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「将来よき医師となるために、現在の医療の仕組みを理解し、社会が医師・医療に寄せる期待を認識するとともに、医学とは何か、人間とは何か、そして健康とは何かについての理解を深める。 2) 早期体験実習を通じて、医療の本質について認識する。 3) 未来の医学・医療についての展望をもち、信州大学で進められている基礎医学研究の内容を知ることにより、基礎医学研究への関心を高める。 4) 医療行政職とはどんな職業かを知る。 5) 医師とはどんな職業かを認識する。 <p>早期体験実習：</p> <p>将来よき医師となるために、疾病や障害を持つ高齢者、知的障害者と接することを通じて個人の尊厳を尊重する態度を身につけ、医学を学ぶ意義を認識する。</p>		
個別行動目標SBOs (授業の概要)	<p>A-1-1) 医療と医学研究における倫理の重要性について概説できる。</p> <p>A-1-2) 患者及びその家族の秘密を守り、医師の義務や医療倫理を遵守するとともに、患者の安全を最優先し、常に患者中心の立場に立つことの重要性について概説できる。</p> <p>A-2-1) 自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を身に付ける。</p> <p>A-4-1)、患者やその家族との対話を通じて、良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力について概説できる。</p> <p>A-4-2) 患者の個別的な背景を理解し、問題点を把握することの重要性を概説できる。</p> <p>A-7-1) 地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を概説できる。</p> <p>A-8-1) 医学・医療の進歩と改善に資するために研究を遂行する意欲を身に付ける。</p> <p>A-9-1) 生涯にわたり自己研鑽を続けることの大切さについて概説できる。</p> <p>B-1-5) 生活習慣とそのリスクについて概説できる。</p> <p>B-1-6) 個体及び集団をとりまく環境諸要因の変化による個人の健康と社会生活への影響について概説できる。</p> <p>B-1-7) 地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題について概説できる。</p> <p>B-1-8) 保健・医療・福祉・介護の制度について概説できる。</p> <p>F-2-16) 緩和ケアについて概説できる。</p> <p>早期体験実習：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 礼儀正しく患者 (施設利用者) や家族と接することができる。 2) 礼儀正しく謙虚に職員と接することができる。 3) 患者の苦痛や障害に配慮できる。 4) 患者・障害者の人格を尊重した人間関係を築くことができる。 5) 高齢者介護や障害者医療におけるチーム連携について説明できる。 		
テキスト、教材、参考書	その他の参考図書は講義の際に適宜紹介する。		
履修上の注意	<p>医学概論の中間部分で行なわれる早期体験実習は、信州大学の医学部生の将来のために、各施設の皆様のご理解とご指導により成り立っていることを深く認識し、謙虚な気持ちで実習させて頂く姿勢を忘れないで頂きたい。</p> <p>講義、実習のいずれについても、遅刻や無断欠席など社会規範を遵守しない態度は許されない。</p> <p>講義室は、前半は旭総合研究棟9階A/B講義室と第2実習室、後半は第1講義室と第2講義室を使用する。個々の日程と講義室については教員からその都度連絡する。</p>		
授業の形式、視聴覚機器等の活用	<p>医学概論講義：パワーポイントなどを用いた講義形式およびグループ討論。</p> <p>早期体験実習：各施設において終日実習を行う。</p>		
成績評価の方法	<p>期末試験を40点、授業中の小レポート等40点、早期体験実習20点、教員評価を10点とし、合計点にて評価を行う。ただし、合計点は100点は超えないものとする。</p> <p>※なお、何らかの理由により、早期体験実習ができない時は期末試験を60点とする。</p> <p>期末試験では、各授業日に掲げている内容を達成しているかをはかる。小レポートは、各授業後に、授業内容について再度考えることを促す内容とする。</p> <p>【全体を通して】 専門家の話を聞いて、自身の問題として考えることを促すことを重視する授業となっていることから、学外講師の授業については参加必須とし、学外講師の授業を欠席する毎に成績から3点減点する。</p>		
成績評価の基準	<p>早期体験実習の発表およびレポートをふくめ、授業への取り組み状況、期末試験、レポートおよび発表の内容により評価する。小レポートは、各授業後に、授業内容について再度考えることを促す内容とする。</p> <p>合計が60点未満は不可とする。</p>		
事前事後学習の内容	課題については、授業中、指示をする。		
学生へのメッセージ並びにオフィスアワー (質問、相談への対応)	<p>医学概論は、医学への高い志を持って入学してきた学生諸君が最初に経験する医学教育である。医学の素晴らしさとその責任の重さ、社会からの期待を感じ取り、その高い志をさらに高めるべく真摯に学んでいただきたい。</p> <p>連絡先：森淳一郎 (医学教育研修センター：内線5821、jimori@shinshu-u.ac.jp) 田中直樹 (国際交流推進室：naopi@shinshu-u.ac.jp)</p>		

授業日	第 1 回	4月11日(月 3)	SBOs	B-1-6) ①健康（健康の定義）、障害と疾病の概念と社会環境を説明できる。 ②社会構造（家族、コミュニティ、地域社会、国際化）と健康・疾病との関係（健康の社会的決定要因 (social determinant of health)）を概説できる。 ○ WHO（世界保健機構）が示す健康の定義とその内容を説明できる。 ○ 現代および将来の医学が求めるべき「健康」について自分の考えを述べる事ができる。
講義室	医学科第2実習室			
GIO	修学ガイダンス/ 「健康」について考える			
担当				
授業日	第 2 回	4月18日(月 3)	SBOs	A-6-1) 安全の確保 A-6-3) 医療従事者の健康と安全 E-2-4) 院内感染 ①標準予防策 ○感染症蔓延予防についての基本的な知識を習得する。
講義室	医学科第2実習室			
GIO	「感染症」について学ぶ			
担当	金井 信一郎（感染制御室）			
授業日	第 3 回	4月25日(月 3)	SBOs	B-1-8) ①日本における社会保障制度と医療経済（国民医療費の収支と将来予測）を概説できる。 ②医療保険、介護保険及び公費医療を概説できる。 ⑧医療における費用対効果について概説できる。 ⑨医療資源と医療サービスの価格形成を概説できる。診療報酬制度を概説できる。
講義室	医学科第2実習室			
GIO	日本の医療システムを理解する			
担当	野見山哲生（衛生学公衆衛生学）			
授業日	第 4 回	5月 2日(月 3)	SBOs	A-1-1) ①医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 ②臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。 ③ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。 ○ 先端医療技術に関連した生命倫理学的問題について自分の考えを述べる事ができる。
講義室	医学科第2実習室			
GIO	医療における倫理について理解する			
担当	福嶋義光（遺伝医学）			
授業日	第 5 回	5月 9日(月 3)	SBOs	A-2-1) A-8-1) A-9-1) ○ 基礎的な医学英単語のルール（スペル、発音、接頭辞・接尾辞）を学ぶ。 ○ e-Learningシステム（ALC NetAcademy NEXT）教材を用いた医学英語勉強法について、説明する。 ○ 夏休み明けのオンライン国際共修（COIL）について、説明する。 ○ 医学論文・レポートの構成を理解し、サマリーや簡単な医学論文を速読できる。 ○ 疾患予防、生命倫理、医療経済などに関するTimesなどの記事を読むことができる。
講義室	医学科第2実習室			
GIO	e-Learning を用いた医学英語、 オンライン国際共修（COIL） のガイダンス			
担当	田中直樹（国際交流推進室）			
授業日	第 6 回	5月16日(月 3)	SBOs	B-1-6) ①障害と疾病の概念と社会環境（機能障害、活動制限、参加制約、生活の質(QOL)、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン等）を説明できる。 ○ リハビリテーションのアプローチを説明できる。 ○ リハビリテーションにおけるチーム医療と役割分担について説明できる。 ○ ノーマライゼーションの概念を説明できる。 ○ ノーマライゼーションにおける医療者と社会の役割について自分の考えを述べる事ができる。
講義室	医学科第2実習室			
GIO	リハビリテーションとノーマライゼーションを理解する。			
担当	木村貞治（保健学科）			
授業日	第 7 回	5月23日(月 3)	SBOs	A-1-2) ①リスボン宣言等に示された患者の基本的権利を説明できる。 ②患者の自己決定権の意義を説明できる。 ③選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。 ④インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。 A-1-3) ②患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを説明できる。 ③医師が患者に最も適した医療の考え方を概説できる。 ④医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。
講義室	医学科第2実習室			
GIO	医師の責務と裁量について考える。			
担当	森 淳一郎			
授業日	第 8 回	5月30日(月 3)	SBOs	B-1-7) ①地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。 ④かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を説明できる。 ○ わが国の地域医療の現状と課題を述べる事ができる。 ○ 長野県の地域医療推進に対する信州大学の取り組みを概説することができる。 ○ 地域医療と集中型先進医療の両者の重要性について自分の考えを述べる事ができる。
講義室	医学科第2実習室			
GIO	長野県の地域医療と信州大学の取り組みを知る			
担当	中澤勇一（地域医療推進室）			
授業日	第 9 回	6月 6日(月 3)	SBOs	B-1-7) ⑤地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。 ⑥災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム<DMAT>、災害派遣精神医療チーム<DPAT>、日本医師会災害医療チーム<JMAT>、災害拠点病院、トリアージ等）を説明できる。 ○ 災害時、非常時における医師の使命について自分の考えを述べる事ができる。
講義室	医学科第2実習室			
GIO	救急医学・災害医学を学ぶ			
担当	（救急集中治療医学）			

授業日	第 10 回	6月13日(月3)	SB0s	B-1-7) ③地域における、保健(母子保健、学校保健)・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間(行政を含む)の連携の必要性を説明できる。 ○超低体重出生児を救う第一線の医療の最近の成果について説明できる。 ○それが患者および家族にとってどのような福音となるか説明できる。 ○今後の医療の発展について自分の考えを述べる事ができる。
講義室	医学科第2実習室			
GIO	「新しい生命を育む医療」について理解する			
担当	中村友彦(長野県立こども病院総合周産期母子医療センター)			
授業日	第 11 回	6月20日(月3)	SB0s	A-4-2) ④医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。 A-9-1) ④キャリアステージにより求められる能力に異なるニーズがあることを理解する。 ○医師の使命とやりがいについて説明できる。 ○生涯学習について考える。 ○医師のパーソナルライフについて考える。
講義室	医学科第2実習室			
GIO	医師の使命(mission)と生涯にわたるキャリア形成について考える			
担当	森 淳一郎、田中 直樹 他			
授業日	第 12 回	6月27日(月3)	SB0s	B-1-7) ③地域における、保健(母子保健、学校保健)・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間(行政を含む)の連携の必要性を説明できる。
講義室	医学科第2実習室			
GIO	「新しい生命を育む医療」について理解する2			
担当	菊地範彦(産婦人科学)			
授業日	第 13 回	7月4日(月3)	SB0s	F-2-16) ①緩和ケア(緩和ケアチーム、ホスピス、緩和ケア病棟、在宅緩和ケアを含む)を概説できる。 ②全人的苦痛を概説できる。 ③緩和ケアにおける心理社会的苦痛を概説できる。 A-4-1) ①コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○Bad News を伝える方法としての SPIKES を説明できる。
講義室	医学科第2実習室			
GIO	緩和ケアを理解する			
担当	山田祐司(愛和病院)			
授業日	第 14 回	7月11日(月3)	SB0s	早期体験実習は9月初旬から中旬にかけて2班に分かれて行う。 実習施設は医学概論の講義の際に各自の希望を優先して学生の委員が調整する。 今年度の実習施設については後日通知する。 実習に際しては現地集合、現地解散が原則となる。 学生保険に加入していることが前提となる。 [第1班 9月6日(月)9:00- 第1講義室に集合・事前の注意/13:00-17:00 実習施設でオリエンテーション・実習 9月7日(火)~10日(金) おおむね9:00-17:00 実習施設で実習] [第2班 9月13日(月)9:00- 第1講義室に集合・事前の注意/13:00-17:00 実習施設でオリエンテーション・実習 9月14日(火)~17日(金) おおむね9:00-17:00 実習施設で実習] 注:日程は実習施設の都合により変更になる場合がある。
講義室	医学科第2実習室			
GIO	早期体験実習の準備			
担当	森 淳一郎、田中 直樹			
授業日	第 15 回	8月1日(月3)	SB0s	A-2-1) A-8-1) A-9-1) ① e-Learningシステム(ALC NetAcademy NEXT)を用いて、指定されたセクションをオンデマンドで自習してくる。確認の小テストあり。 ② 自習内容のアウトプットとして、お互いにロールプレイ形式で確認し、最後に全員で復習、まとめ、次回の課題を確認する。 ③ オンライン国際共修(COIL)の準備を行いたい。 ○ 基礎的な医学英単語(スペル、発音、接頭辞・接尾辞)をマスターする。 ○ 医学論文・レポートの構成を理解し、サマリーや簡単な医学論文を速読できる。 ○ 疾患予防、生命倫理、医療経済などに関するTimesなどの記事を読むことができる。
講義室	医学科第2実習室			
GIO	e-learningを用いた医学英語 ① オンライン国際共修(COIL)の準備			
担当	田中直樹(国際交流推進室)			
授業日	第 16 回	9月26日(月3)	SB0s	A-2-1) A-8-1) A-9-1) ① e-Learningシステム(ALC NetAcademy NEXT)を用いて、指定されたセクションをオンデマンドで自習してくる。確認の小テストあり。 ② 自習内容のアウトプットとして、お互いにロールプレイ形式で確認し、最後に全員で復習、まとめ、次回の課題を確認する。 ③ オンライン国際共修(COIL)の準備を行いたい。 ○ 基礎的な医学英単語(スペル、発音、接頭辞・接尾辞)をマスターする。 ○ 医学論文・レポートの構成を理解し、サマリーや簡単な医学論文を速読できる。 ○ 疾患予防、生命倫理、医療経済などに関するTimesなどの記事を読むことができる。
講義室	旭総合講義室AB			
GIO	e-Learningを用いた医学英語 ② オンライン国際共修(COIL)の準備			
担当	田中直樹(国際交流推進室)			
授業日	第 17 回	10月3日(月3)	SB0s	A-2-1) 課題探求・解決能力 ①必要な課題を自ら発見できる。 ②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ③課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ④課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 ⑤適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。 A-4-1) コミュニケーション ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
講義室	旭総合講義室AB			
GIO	【早期体験実習の発展学習】 早期体験実習で学んだ内容をもとに、プレゼンテーションの基礎を身に付ける。 【基礎医学教室訪問】※参加必須 基礎医学教室訪問に向けたグループ分けと準備を行う。 e-Learningを用いた医学英語① オンライン国際共修(COIL)の準備			
担当	森淳一郎(医学教育研修センター)			

授業日	第 18 回	10月17日(月 3)	SB0s	A-2-1)
講義室	旭総合講義室AB			
GIO	オンライン国際共修 (COIL) ①			<p>① 1年生を3グループに分け、グループ1が海外協定校の医学生とオンラインで対面する。テーマを設定し、信州（日本）と協定校（海外）との違いを英語で討論・自己学習する。</p> <p>② 発表にむけて、プレゼンテーションの準備を行う。</p> <p>③ 残りのグループは講義時間を早期体験実習の発表準備（森先生）、e-Learningシステムを用いて医学英語の学習を行う。</p> <p>○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。</p> <p>○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。</p> <p>○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。</p> <p>※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。</p>
担当	田中直樹（国際交流推進室）、森淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 19 回	10月24日(月 3)	SB0s	A-2-1)
講義室	旭総合講義室AB			
GIO	COILグループ1 発表会			<p>① グループ1が海外協定校の医学生とオンライン学習・討論した成果を発表する。</p> <p>○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。</p> <p>○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。</p> <p>○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。</p> <p>※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。</p>
担当	田中直樹（国際交流推進室）、森淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 20 回	10月31日(月 3)	SB0s	A-2-1)
講義室	旭総合講義室AB			
GIO	オンライン国際共修 (COIL) ②			<p>① 続いてグループ2が海外協定校の医学生とオンラインで対面する。テーマを設定し、信州（日本）と協定校（海外）との違いを英語で討論・自己学習する。</p> <p>② 来週の発表にむけて、1週間かけてプレゼンテーションの準備を行う。</p> <p>③ 残りのグループは、医学英語オンデマンド教材で自習する。</p> <p>○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。</p> <p>○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。</p> <p>○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。</p> <p>※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。</p>
担当	田中直樹（国際交流推進室）、森淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 21 回	11月 5日(土 1～5)	SB0s	
講義室	旭総合講義室AB			
GIO	早期体験実習成果発表会 13時～ 【土曜日であることに留意すること】			<p>早期体験実習のまとめとして、施設ごとのグループに分かれて実習で学んだことの発表を行う。司会や進行、来賓の招待などすべて学生の運営による。 場所：旭総合研究棟9階A/B講義室（予定） レポートを提出し報告書を作成する。この編集も学生が行う。</p>
担当	田中直樹（国際交流推進室）、森淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 22 回	11月 7日(月 3)	SB0s	A-2-1)
講義室	旭総合講義室AB			
GIO	COILグループ2 発表会			<p>① グループ2が海外協定校の医学生とオンライン学習・討論した成果を発表する。</p> <p>○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。</p> <p>○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。</p> <p>○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。</p> <p>※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。</p>
担当	田中直樹（国際交流推進室）、森淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 23 回	11月14日(月 3)	SB0s	A-2-1)
講義室	旭総合講義室AB			
GIO	オンライン国際共修 (COIL) ③			<p>① 最後にグループ3が海外協定校の医学生とオンラインで対面する。テーマを設定し、信州（日本）と協定校（海外）との違いを英語で討論・自己学習する。</p> <p>② 来週の発表にむけて、1週間かけてプレゼンテーションの準備を行う。</p> <p>③ 残りのグループは、医学英語オンデマンド教材で自習する。</p> <p>○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。</p> <p>○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。</p> <p>○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。</p> <p>※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。</p>
担当	田中直樹（国際交流推進室）、森淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 24 回	11月21日(月 3)	SB0s	A-2-1)
講義室	医学科第2実習室			
GIO	COILグループ3 発表会 ※基礎教室訪問、事前課題の提出締め切り日			<p>① グループ3が海外協定校の医学生とオンライン学習・討論した成果を発表する。</p> <p>○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。</p> <p>○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。</p> <p>○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。</p> <p>※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。</p>
担当	田中直樹（国際交流推進室）、森淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 25 回	11月28日(月 3)	SB0s	【教室訪問日】
講義室	旭総合講義室AB			
GIO	【基礎医学について知る】 基礎医学教室訪問で学んだ内容をもとに、基礎医学についての理解を深める。			<p>担当する教室への訪問のみ。教室に集合する必要はありません。</p>
担当	森淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 26 回	12月 5日(月 3)	SB0s	A-8-1) A-9-1)
講義室	医学科第2実習室			
GIO	海外研究留学の勧め：ノーベル賞受賞者 オルター先生との共同研究の思い出 ―C型肝炎ウイルス発見の恩恵は計り知れない―			<p>① 医学研究の楽しさ、海外の研究者との交流が人生の財産となることを理解してほしい。</p> <p>② 信州や日本にとどまらず、グローバルに活躍する気持ちを持ってほしい。</p>
担当	清澤研道先生（信州大学名誉教授）、田中直樹（国際交流推進室）			

授業日	第 27 回	12月12日(月 3)	SB0s	A-2-1) 課題探求・解決能力 ②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ⑤適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。 A-4-1) コミュニケーション ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ○基礎医学教室訪問で得た内容を基に、全体発表用の資料を作成できる。 (発表時間は各教室当たり4分間を予定している。)
講義室	医学科第2実習室			
GIO	【基礎医学について知る】 基礎医学教室訪問で学んだ内容をもとに、基礎医学についての理解を深める。			
担当				
授業日	第 28 回	12月19日(月 3)	SB0s	○厚生労働省の機能と役割について概説できる。
講義室	医学科第2実習室			
GIO	【医療行政職について知る】 自身がとり得る職業の一つとして、医療行政職とはどんな職業かを知る。			
担当	森 淳一郎			
授業日	第 29 回	12月26日(月 3)	SB0s	A-4-1) ①コミュニケーションの方法と技能(言語的と非言語的)を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築ことの重要性を説明できる。 ③傾聴と共感について説明できる。
講義室	医学科第2実習室			
GIO	良好な人間関係を築くためのコミュニケーションについて考える。			
担当	森 淳一郎			
授業日	第 30 回	1月16日(月 3)	SB0s	A-9-1) 生涯学習への準備 ②生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ③キャリア開発能力を獲得する。 A-4-1) コミュニケーション ③患者・家族の話を受容し、共感することの必要性を概説できる。 A-4-2) 患者と医師の関係 ①患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮することの必要性を説明できる。 ③患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握することの必要性を説明できる。
講義室	旭総合講義室AB			
GIO	【医師について知る】 医師とはどのような職業であるかを知り、心構えやそれまでに身に付けておくべき事柄について理解する。 【基本的な診療技術】 医療面接の基礎について理解する。 授業アンケートを実施する			
担当	森 淳一郎			
授業日	第 31 回	1月23日(月 3)	SB0s	
講義室	旭総合講義室AB			
GIO				
担当	森 淳一郎, 田中 直樹			
授業日	第 32 回	1月30日(月 3)	SB0s	
講義室	旭総合講義室AB			
GIO				
担当	森 淳一郎, 田中 直樹			

開講年度：2022

科目名	地域医療	題目（副題）	地域に根ざした医療の実践
担当教員、教員連絡先内線	中澤 勇一 5892		
学年、講義期間、曜日・時限	3年次	前期（随時）	水曜, 4時限 水曜, 5時限 水曜, 6時限
単位数、講義室	0単位 旭総合講義室A B		
授業で得られる「学位授与の方針」要素	<ul style="list-style-type: none"> ・温かい人間性や高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の健全な発展のために行動できる。 ・医師としての高い見識と誠実な態度を身につけ、病める人を救う強い情熱を持っている。 ・患者やその家族と十分な意思の疎通ができ、医療のみならず保健や福祉の関係者と良好な関係を築くことで、チーム医療を推進する能力を持っている。 		
臨床実習前の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの方法と技能およびその及ぼす影響を概説できる。 ・良好な人間関係を築くことができる。 ・患者・家族に共感することの重要性について概説できる。 ・チーム医療の意義を説明できる。 ・チーム医療における医師の役割を説明できる。 ・離島・へき地を含む地域社会における医療の状況、医師偏在の現状を概説できる。 ・医療計画及び地域医療構想、地域包括ケア、地域保健などを説明できる。 ・信州の医療圏の特徴を説明できる。 		
授業のキーワード	地域医療、プライマリ・ケア、在宅医療、医療問題 実務経験のある教員による授業科目		
一般学習目標G10（期待される学習効果）	地域に根ざした医療を実践している講師の授業を通じて、医療における地域の視点の重要性ならびに地域の医療が抱える問題点とその対策についての認識を深める。		
個別行動目標SB0s（授業の概要）	<p>A-5-1) 地域での医療の実践における多職種協働と人材育成の重要性について理解する。 A-7-1) 医療人として求められる社会的役割と地域医療へ貢献するための能力を理解する。 B-1-6) 社会と健康・疾病との関係を理解し、個体及び集団をとりまく環境諸要因の変化による個人の健康と社会生活への影響について学ぶ。 B-1-7) 地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題、ならびに地域医療に貢献するための能力・マインドを理解する。 B-1-8) 限られた医療資源の有効活用の視点を踏まえ、医療・福祉・介護の在り方を考える。 B-4-1) 臨床実践に行動科学・社会科学の知見を生かすことができるよう、健康・病い・医療に関する文化人類学・社会学（主に医療人類学・医療社会学）の視点・方法・理論について、理解を深める。 F-2-15) 在宅医療と介護の基本を学ぶ。</p>		
テキスト、教材、参考書	参考図書 1) 地域医療は再生する（医学書院） 2) プライマリ 地域へむかう医師のために（医学書院） 3) 地域医療テキスト（医学書院） 4) 地域医療学入門（診断と治療社）		
履修上の注意			
授業の形式、視聴覚機器等の活用	対面での授業を予定していますが、状況によってはオンライン授業へ変更します。授業は、各回の講師によるプリント資料とPCプレゼンテーションを用いた講義、質疑応答、感想の記入（Google form）、からなります。		
成績評価の方法	成績評価には3/4以上の出席が必要です。 4回目の授業終了後2週間以内に提出のレポートで評価します。 レポートは、全体を通しての感想・意見、地域医療に関する一般、等をテーマにA4 2枚程度（上限なし）で作成してください。 本授業の成績は、医学概論演習Ⅱに組み込みます。		
成績評価の基準			
事前事後学習の内容	各授業の資料をeALPSにアップしますので参考にしてください。		
学生へのメッセージ並びにオフィスアワー（質問、相談への対応）	いくつかの参考書は地域医療推進学教室に用意してあります。オフィスアワー：火・水・金曜日の13時～17時		

授業日	第1回 4月6日(水4～6)	SBOs	<p>A-5-1)患者主体のチーム医療の重要性を説明できる。 B-1-7)かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解する。</p> <p>○総合診療の必要性について説明できる。 ○地域医療とは医療そのものであることを理解する。</p>
講義室	旭総合講義室A B		
G10	これから求められる医療と医療者像について学ぶ		
担当	信州大学医学部附属病院総合診療科 特任教授 関口健二		
授業日	第2回 4月13日(水4～6)	SBOs	<p>F-2-15)在宅医療の在り方、今後の必要性和課題を概説できる。 F-2-15)在宅医療における多職種連携の重要性を説明できる。</p> <p>○終末期の患者さんの看取りについて学ぶ。 ○寄り添い支える医療について学ぶ。</p>
講義室	旭総合講義室A B		
G10	在宅医療の現状と課題について学ぶ。		
担当	伊豆保健医療センター 総合診療科 北澤彰浩		
授業日	第3回 4月20日(水4～6)	SBOs	<p>A-7-1)医療人として求められる社会的役割と地域医療へ貢献するための能力を理解する。 B-1-7)地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性和実践に必要な能力を理解する。</p> <p>○地域病院での医師養成と学生教育の意義について理解する。 ○どの診療の場においても必要な医療者・医師としての姿勢を学ぶ。</p>
講義室	旭総合講義室A B		
G10	地域を診る医療、地域を診る医師の養成について学ぶ		
担当	諏訪中央病院 総合診療科 水間悟氏		
授業日	第4回 4月27日(水4～6)	SBOs	<p>A-5-1)保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。 B-1-7)地域における医療の状況、医師の偏在の現状を概説できる。</p> <p>○医療崩壊を説明できる。 ○医療を守るための当事者としての住民と医療者の役割を知る。</p>
講義室	旭総合講義室A B		
G10	地域の医療崩壊の要因と医療を守るための地域の取り組みを学ぶ。 授業アンケートを実施する		
担当	市立大町総合病院 副院長 高木 哲		



2022-2023

クリニカルクラークシップⅡ

150通りの選択肢からなる 参加型臨床実習	5年次後期	令和4年9月～令和5年2月
選択臨床実習	6年次前期	令和5年4月～令和5年6月

信州大学医学部医学科

クリニカルクラークシップⅡ 実習の手引き

臨床実習心得	1
ルールとマナー	2
信州大学医学部医学科の基本理念と教育理念	3
信州大学医学部附属病院の基本理念	3
医学部医学科学学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	4
コンピテンシー	5
医学科卒業時の到達目標	6
信州大学の医学生における臨床実習の経験目標	7
臨床実習について	9
臨床実習前の確認事項	11
身だしなみに関する心得	12
諸注意事項	13
インシデント発生時の対応	15
院内における暴力・暴言等発生時の対応	17
感染症疑い時の臨床実習について	18
針刺し事故が起きた時は	19
血液・体液曝露（針刺し・切創・粘膜曝露）発生時の対応	20
B型,C型,非A型,非B型,非C型肝炎事故報告書	22
実習日程表	24
学内教室窓口担当者と事前連絡事項等	25
教育協力病院窓口	27
臨床実習の評価について	30
提出レポートの評価基準表（ルーブリック）	31
提出物と評価の流れ	32

学生の提出物 記載例と注意事項

・提出物チェックリスト	35
・出席表	36
・ルーブリック	37
・学習レポート	38
・行動レポート	41
・実習評価票	43
・担当症例一覧	44

学生の提出物

- ・学習レポート、行動レポート、ルーブリック（e-Alpsからダウンロード）
- ・出席表
- ・C票・D票
- ・担当症例一覧（e-Alpsからダウンロード可能）
- ・電子カルテ閲覧患者に関する自己申告報告書
- ・実習評価票

臨床実習心得

臨床実習に参加するに当たり、下記事項を心得るとともに医療の現場での実習であるとの認識のもとに患者の権利・プライバシーを尊重し、医療の安全性を高めながら、実習の実を上げるべく努力すること。

1. 実習病院の諸規則を遵守し、病院職員と協調して実習に励むこと。
2. 実習で知りえた患者等に関する一切の個人情報について守秘義務を厳格に守ること。
3. 医療チームの一員として責任を持ち、診療に参加し、指導医及びスタッフと十分協議し、その指導に従いつつ実習すること。
4. 臨床実習に必要な医学知識・基本技能を有することを認められていること、すなわち共用試験を受験し、一定の成績を修めていることが実習要件である。
5. 実習の安全確保のために必要な抗体検査やワクチン接種を受けていることが実習要件である。
6. 実習中の事故等に対応するための保険（生協・AIGなど）に加入することが実習要件である。
7. 実習期間中は常に身分証明書を見える位置に携帯すること。
8. ルールとマナー（次頁）を厳守すること。

信州大学医学部長

信州大学医学部附属病院長

ルールとマナー

臨床実習において学生は、一医師（仮）として、診療を通して直接患者さんと触れ合います。

以下は、当然のルールとマナーです。

1. 時間厳守。
2. 現場のルールを尊重する。
3. 上下ともに白衣を着用する。（ケーシー可）
4. 髪、髭、爪を手入れし、服装にも留意し、身体を清潔にする。
5. 挨拶を励行し、きちんと、丁寧に、親切な言葉使いをする。
6. 実習中は飲食禁止。
7. 器具や設備は正しく指示通り取り扱い、使用後は必ず所定の方法で片づけをする。
8. 院内感染及び、医療事故の予防に留意する。
9. 白衣着用のまま生協食堂を利用しない。

信州大学医学部医学科の基本理念と教育理念

基本理念

信州大学医学部医学科は、信州の恵まれた自然環境と多様な医療環境の中で、豊かな人間性と高い倫理観、並びに優れた課題探求能力を兼ね備えた、広く社会に貢献できる医師を養成します。また、人類の健康と福祉に貢献するため、医学の真理の奥深さを究め、先端的医療に対する科学的基盤の構築を進展させます。さらに、優れた研究成果を広く世界に発信し、諸外国の研究者との研究協力を推進します。そして、国際水準を上まわる医学、医療、保健と、それらを基にした福祉を実践して地域に貢献します。

教育理念

基本理念を達成するために、以下の教育理念を掲げます。

- ・ 高い倫理観を持ち、病めるものの痛みがわかる医師を育てます。
- ・ 患者や家族と十分な意思疎通を図りつつ、患者の身体的並びに心理的状态を科学的に評価し、医療チームの一員として疾病の診断と治療を適切に行うことのできる医師を育てます。
- ・ 信州の多様な医療環境のニーズを理解し、地域に住む人々から学び、寄り添い、共に歩むことのできる、また地域で学んだことをどこにおいても実践できる医師を育てます。
- ・ 移植医療やゲノム診療、再生医療など世界最先端の医療に関する情報を収集し、活用できる医師を育てます。
- ・ 医学の真理を伝えることで、未だ明らかになっていない医学的課題に対して強い探究心を持ち、自身が学んだことを他人と共有し、意見交換のできる医師を育てます。

信州大学医学部附属病院の基本理念

本院は診療・教育・研究を遂行する大学病院としての使命を有し、また患者さんの人権を尊重した先進的医療を行うとともに、次代を担う国際的な医療人を育成する。

目標

1. 心の通い合う、透明性の高い医療を行い、病気の予防、診断、治療に全力をつくす。
2. 患者さんが社会復帰できるよう支援する。
3. 地域における医療と福祉の向上に寄与する。
4. 命の尊さと心身の痛みがわかる人間性豊かな医療人を育成する。
5. 未来の医学・医療を創造し、その成果を国内外に発信する。

医学部医学科学学位授与の方針

(ディプロマ・ポリシー)

信州大学医学部医学科の理念と目標に則り、以下の知識と能力を十分培った学生に「学士（医学）」の学位を授与する。

「意欲・態度」

- ・ 温かい人間性や高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の健全な発展のために行動できる。
- ・ 医師としての高い見識と誠実な態度を身につけ、病める人を救う強い情熱を持っている。

「思考・判断」

- ・ 患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。

「コミュニケーション」

- ・ 患者やその家族と十分な意思の疎通ができ、医療のみならず保健や福祉の関係者と良好な関係を築くことで、チーム医療を推進する能力を持っている。

「技能・知識」

- ・ 疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。
- ・ 常に最新の医療情報を収集するとともに、生涯自らの学習課題を開拓し探求することができる。

コンピテンシー

- 1) 医学・医療における倫理性：
診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。
- 2) 医学知識と問題対応能力：
最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。
- 3) 診療技能と患者ケア：
臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。
- 4) コミュニケーション能力：
患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。
- 5) チーム医療の実践：
医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。
- 6) 医療の質と安全の管理：
患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。
- 7) 社会における医療の実践：
医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会と国際社会に貢献する。
- 8) 科学的探究：
医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。
- 9) 生涯にわたって共に学ぶ姿勢：
医療の質の向上のために省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。
- 10) 信州に学び、患者と共に歩む姿勢：
信州に住む人々からの学びを通じて自らを高め、どのような医療環境においても患者と協働的な医療を実践できる。

医学科卒業時の到達目標

1	医学・医療における倫理性	<input type="checkbox"/> 人間の尊厳と生命の不可侵性に関して尊重の念を示す。 <input type="checkbox"/> 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。 <input type="checkbox"/> 倫理的ジレンマの存在を認識する。 <input type="checkbox"/> 利益相反の存在を認識する。 <input type="checkbox"/> 診療、研究、教育に必要な透明性確保と不正行為の防止を認識する。
2	医学知識と問題対応能力	<input type="checkbox"/> 必要な課題を発見し、重要性・必要性に照らし、順位付けをし、解決にあたり、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な方法を見出すことができる。 <input type="checkbox"/> 適切な自己評価と改善のための方策を立てることができる。 <input type="checkbox"/> 講義、教科書、検索情報などを統合し、自らの考えを示すことができる。
3	診療技能と患者ケア	<input type="checkbox"/> 必要最低限の病歴を聴取し、網羅的に系統立てて、身体診察を行うことができる。 <input type="checkbox"/> 基本的な臨床技能を理解し、適切な態度で診断治療を行うことができる。 <input type="checkbox"/> 問題志向型医療記録形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文章を作成できる。 <input type="checkbox"/> 緊急を要する病態、慢性疾患、に関して説明ができる。
4	コミュニケーション能力	<input type="checkbox"/> 適切な言葉遣い、態度、身だしなみで患者や家族に接する。 <input type="checkbox"/> 患者や家族にとっての情報を整理し、説明できる。 <input type="checkbox"/> 指導医とともに患者の主体的な意思決定を支援する。 <input type="checkbox"/> 患者や家族の主要なニーズを把握する。
5	チーム医療の実践	<input type="checkbox"/> チーム医療の意義を説明でき、（学生として）チームの一員として診療に参加できる。 <input type="checkbox"/> 自分の限界を認識し、他の医療従事者の援助を求めることができる。 <input type="checkbox"/> チーム医療における医師の役割を説明できる。
6	医療の質と安全管理	<input type="checkbox"/> 医療事故の防止において個人の注意、組織的なリスク管理の重要性を説明できる。 <input type="checkbox"/> 医療現場における報告・連絡・相談の重要性、医療文書の改ざんの違法性を説明できる。 <input type="checkbox"/> 医療安全管理体制の在り方、医療関連感染症の原因と防止に関して概説できる。
7	社会における医療の実践	<input type="checkbox"/> 離島・へき地を含む地域社会における医療の状況、医師偏在の現状を概説できる。 <input type="checkbox"/> 医療計画及び地域医療構想、地域包括ケア、地域保健などを説明できる。 <input type="checkbox"/> 災害医療を説明できる。 <input type="checkbox"/> 地域医療に積極的に参加・貢献する。
8	科学的探究	<input type="checkbox"/> 研究は医学・医療の発展や患者の権利の増進のために行われることを説明できる。 <input type="checkbox"/> 生命科学の講義、実習、患者や疾患の分析から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。
9	生涯にわたって共に学ぶ姿勢	<input type="checkbox"/> 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収の必要性を認識する。 <input type="checkbox"/> 同僚、後輩、医師以外の医療職から学ぶ姿勢を維持する。 <input type="checkbox"/> 国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。）の重要性を認識する。
10	信州に学び、患者と共に歩む姿勢	<input type="checkbox"/> 信州の多様な医療環境の共通点と独自性を説明できる。 <input type="checkbox"/> それぞれの医療環境に求められる最適な医療について、患者と協働して考えることができる。

信州大学の医学生における臨床実習の経験目標

指導医の指導・監視の下で実施されるべき(レベル I)

内容	I-A どのローテーションにおいても実施されるべき	I-B 実習中にどこかのローテーション先で実施されるべき	I-C 指導医の判断により、I-A・Bを習熟した学生に選択可能な医行為
診療の基本	臨床推論、EBMの実践 診断・治療計画立案 患者への説明 カンファレンスへの参加 プレゼンテーション 診療録記載(電子カルテ・紙媒体は問わない) 以下について模擬的に作成 ・医師指示録 ・食事箋 ・検査申込書 ・紹介状 ・返書	以下について模擬的に作成 ・リハビリ箋	
一般手技	体位交換 移送	静脈採血・末梢静脈確保(小児科は毛細管採血のみ) ※指導者が選択した患者さんに対し、必ず目で行う。 尿道カテーテル挿入 気道内吸引 ネブライザー、吸入療法 注射(皮下・皮肉・筋肉・静脈内) 外用薬貼付、塗布 酸素投与 局所麻酔 圧迫止血 胸骨圧迫	口腔内吸引、気道内吸引 胃管挿入 全身麻酔の介助 輸血の介助 四肢外傷固定の介助
外科手技		肛門鏡 清潔操作 手洗い ガウンテクニック 結紮・皮膚縫合 抜糸 皮膚消毒・ガーゼ交換・包帯交換	
検査手技	尿検査 血液生化学検査 単純X線検査の読影 CT、MRIの読影 経皮的酸素飽和度モニター	検便・検痰 12誘導心電図 呼吸機能検査 脳波検査(判読) 超音波検査(心・腹部) 視力視野・視力検査 聴力・平衡検査 以下の流れを確認できること ・血液型判定、交差適合試験 ・末梢血塗抹染色検査 ・細菌塗抹染色検査(G染色を含む) ・妊娠反応検査	筋電図 脳波検査 婦人科:陰鏡診 経膈超音波
診察手技	医療面接 診察法(全身、頭部、頸部、胸部、腹部、四肢の診察) 神経学的所見 聴診器、舌圧子 ハンマーを用いる全身の診察 バイタルサイン(血圧測定、脈拍)	直腸診察 前立腺触診 高齢者の診察(ADL評価、CGA) 外科:乳房診 婦人科:基本的な婦人科診察(非侵襲的なもの) 小児科:耳鼻科:耳鏡、鼻鏡 眼科・脳神経内科・脳外科:眼底鏡	中心静脈カテーテル挿入の介助 動脈採血・ライン確保 血液培養 体表のう胞の穿刺 穿刺手技の介助 知能テスト、心理テスト 長谷川式認知機能検査 電氣的除細動(AEDを除く)
救急	一次救命処置	気道確保(エアウェイ)	

指導医の実施の介助・見学が推奨される(レベルⅡ)

内容	Ⅱ-A どのローテーションにおいても見学すべき	Ⅱ-B 実習中にどこかのローテーション先で見学すべき
一般手技	家族への症状説明 処方箋作成、注射箋作成	気管挿管 胃管挿入 ドレーン挿入・抜去 口腔内吸引、気道内吸引 洗腸 全身麻酔、局所麻酔、輸血 四肢外傷固定 中心静脈カテーテル挿入 動脈採血・ライン確保 腰椎穿刺 眼球に直接触れる治療 ワクチン接種 各種診断書・検案書・証明書の作成
外科手技		切開、排膿
検査手技		内視鏡検査 上部・下部消化管造影検査 気管支造影検査 体腔穿刺(腹腔内、胸腔) 乳腺穿刺 骨髄穿刺 体表のう胞の穿刺 穿刺手技の介助 血液培養 知能テスト、心理テスト 長谷川式認知機能検査 眼科:眼球に直接ふれる検査 筋電図 CT/MRI X線検査 核医学
診察手技		分娩 内診
救急		二次救命処置 外傷処置 救急病態の初期治療 電氣的除細動(AEDを除く)

※この表に無い手技については、原則として学生の実施を認めない。
 ※小児に対する観血的手技は、「小児科」と明記されたもののみとする。

診療参加・シミュレーション・見学等で経験すべき症候(37項目)

発熱	全身倦怠感	食思(欲)不振	ショック	心停止	体重減少・体重増加	意識障害・失神
けいれん	めまい	脱水	浮腫	咳・痰	血痰・喀血	呼吸困難
胸痛	動悸	胸水	腹痛	悪心・嘔吐	吐血・下血	便秘・下痢
発疹	黄疸	貧血	リンパ節腫脹	血尿・蛋白尿	尿量・排尿の異常	月経異常
頭痛	不安・抑うつ	もの忘れ	腰背部痛	外傷・熱傷	運動麻痺・筋力低下	関節痛・関節腫脹

臨床実習について

1. クリニカルクラークシップについて

クリニカルクラークシップとは、従来の単なる見学や講義にとどまった受動的な“臨床実習”ではなく、学生を病棟・外来における診療チームの一員と位置づけ、診療業務を分担しながら医師の職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な部分を学ぶものである。学生自身は能動的に、患者の臨床上的問題点を抽出し、その問題について調査し、患者の臨床問題の解決に導く従来の研修医一年目初期に相当するレベルの医行為や病棟業務を実体験する。

クリニカルクラークシップの目標は、学生が各診療科をローテートする中で、医療チームの一員として多くの時間を病棟で過ごし、患者を診療する過程に参加することで診療技術・問題解決能力・診療態度・患者とのコミュニケーション能力などを身につけることであり、その指導にあたっては、研修医・コメディカルを含めたすべての医療スタッフの協力を必要とする。学生は教育が多くの人の協力の上に成り立っていることを認識し、「能動的に臨床実習に参加する」という姿勢・態度を持つことが必須である。

2. この実習の具体的な特徴

- (ア) 学生は教科書文献的知識だけでなく現場での思考法(臨床推論法)や実技、診療上や学習上の態度も含めて医師としての能力を総合的に学ぶ。
- (イ) 実際の患者さんや医師以外の医療職を相手に業務を実体験しながら実践的に学ぶ。
- (ウ) 学生が医師としての知識・思考法・技能・態度の基本的な部分を学ぶ相手は、患者さんならびに医師、看護職などの診療スタッフ全員である。
- (エ) 具体的には、ある患者さんの診療を通じて学生の指導にあたる医師群(その患者さんの診療に直接的な責任のある医師を中心とし、その患者さん担当の研修医等も含む)は、その患者さんの診療業務のうち、学生の能力に応じた役割を任せる。また、別に記載する一定範囲内の医行為を一定の条件のもとにおいて許可する。
- (オ) 有意義な実習とするためには、1診療科を越えて継続性のある学習評価を受ける必要がある。診療録の記載・指導医との討議・病棟業務・症例発表等を介して、問題指向型学習を行い、自己評価を行うとともに、指導医による評価を受けることでより高度な業務を任せてもらえるようになる。

3. 学習目標

A 一般的な目標

1. 患者やその家族との適切なコミュニケーションに基づく信頼関係の構築、医療チームの一員としての他医師・コメディカルスタッフとの適切な人間関係の構築について理解し会得する。
2. 患者の臨床上的問題点を抽出しその解決を目標として科学的かつ戦略的・継続的に医療を遂行する能力を身につける。
3. 患者の診療に必要な基本的手技を体験し、適切なプライマリケアができる基本的知識と臨床技能および生涯継続して能動的に学習する姿勢を身につける。

B 個々の目標

1. 患者を常に全人格として捉え、適切な人間関係を確立し、適切な診療計画を立案できる。

2. 問題解決の基本的プロセスを説明できる。
3. 問題解決に必要な情報を適切に収集できる。
4. 望ましい面接技法を用いて、患者及びその周辺から身体的、社会的、心理的な情報を採取できる。
5. 系統的な身体診察を施行でき、得られた所見を整理して診療録に記載できる。
6. 基本的検査(血液型、一般血液、検尿、検便、培養、グラム染色、赤沈、クロスマッチ、心電図検査など)を実施できる。
7. 収集した情報から問題点を抽出できる。
8. 個々の情報の意味づけができる。
9. 臨床検査の意味づけを説明できる。
10. カルテに記載されている臨床経過、看護記録、オーダーなどの意味づけを説明できる。
11. レントゲン検査、心電図、超音波検査、CT、MRI、血管造影、内視鏡検査、病理検査などの診断法の基本的事項と限界を述べ、典型的な所見の解釈ができる。
12. 術前・術中・術後管理、成人・小児の全身管理、看護の基本を述べることができる。
13. 問題解決のための診断・治療・教育計画を立てることができる。
14. 以下の処置・操作の基本的手技を行うことができる。
 - 消毒、耳朶採血、静脈採血、穿刺、バイタルサインチェック、蘇生法、気道確保、人工呼吸、酸素投与、気道内吸引、導尿、浣腸、包帯交換、外用薬塗布、抜糸、止血、手洗い、ガウンテクニック、手術助手、体位交換、処方箋作成、紹介状や返書などの各種医療文書作成、など。
15. 診療録への記載ができる。
16. 患者情報を適切に要約し、場面に応じて要領よく呈示できる。
17. 医の倫理、死の臨床、QOL、インフォームドコンセントについて述べるができる。
18. 医療上必要な法的手続きを説明できる。
19. 問題解決に必要な医学知識を自学自習できる。
20. 自己の臨床能力を評価でき、他者からの評価を受け入れることができる。

4. 指導にあたる指導スタッフの主な役割

(ここで指す指導スタッフとは病棟における全ての医療スタッフのことであり研修医を含む。)

1. 学生が実施できる医行為の内容・条件を確認する。
2. 初日にオリエンテーションを行い、行事予定の説明、診療チームへの紹介、患者への紹介、学生が診療することに対する患者のインフォームドコンセントの取得、病棟の案内、学生への連絡方法の確認等を行う。
3. 学生を診療チームの一員として位置づけ、一定の診療上の役割を持たせる。
4. 病棟業務について指導・監督・助言を行う。
5. 高頻度疾患、重要疾患の入院患者を優先して受け持ち患者とする。個々の学生の実習記録を参照し、診療科間での重複を避ける。
6. 原則、毎日1-2回の回診を行わせ、チェックのため指導回診を行う。
7. 診療記録の記載法について指導し、実際に記載された診療録を監査・討議する。
8. 診療チーム内の指導体制を確立し、学生が行う医行為の指導・監督を行う。
9. 臨床実習評価表により、学習評価を行う。
10. 教育指導者は、最終日に面接を行い、まとめと評価を行う。
11. 上級指導医は、チーム内の指導医の指導態度に関して適切な助言を行う。

2022-2023年 クリニカルクラークシップⅡ 日程表

クリニカルクラークシップⅡは1ターム4週として、5年次「150通り実習」で6ターム、6年次「選択臨床実習」で3タームの計9タームの実習を行います。

各タームの最終日は大学の専門領域教室で「まとめ」を行います。なお、「まとめ」の日は、担当教室の都合で変更になる場合があります。

150通り実習期間			大学でまとめ
第1ターム	9/5(月) ~	10/6(木)	10/7(金)
第2ターム	10/11(火) ~	11/2(水)	11/4(金)
第3ターム	11/7(月) ~	12/1(木)	12/2(金)
第4ターム	12/5(月) ~	12/27(火)	12/28(水)
第5ターム	1/4(水) ~	1/26(木)	1/27(金)
第6ターム	1/30(月) ~	2/22(水)	2/24(金)

選択臨床実習期間			大学でまとめ
第7ターム	4/3(月) ~	4/27(木)	4/28(金)
第8ターム	5/8(月) ~	6/1(木)	6/2(金)
第9ターム	6/5(月) ~	6/29(木)	6/30(金)

		週	日	月	火	水	木	金	土
令和4年	9月	1	4	5	6	7	8	9	10
		2	11	12	13	14	15	16	17
		3	18	19	20	21	22	23	24
	10月	4	25	26	27	28	29	30	
		1	2	③	4	5	6	7	8
		2	9	10	11	12	13	14	15
		3	16	17	18	19	20	21	22
	11月	4	23	24	25	26	27	28	29
		1	30	③					
		2			1	2	3	4	5
		3	6	7	8	9	10	11	12
	12月	4	13	14	15	16	17	18	19
1		20	21	22	23	24	25	26	
2		27	②	29	30				
3		4				1	2	3	
令和5年	1月	4	4	5	6	7	8	9	10
		1	11	12	13	14	15	16	17
		2	18	19	20	21	22	23	24
		3	25	②	27	28	29	30	31
	2月	4	1	2	3	4	5	6	7
		1	8	9	10	11	12	13	14
		2	15	16	17	18	19	②	①
		3	22	②	24	25	26	27	28
3月	4	29	30	31					
	1				1	2	3	4	
	2	5	6	7	8	9	10	11	
	3	12	13	14	15	16	17	18	
4月	4	19	②	21	22	23	24	25	
	1	26	27	28					
	2								
	3								

		週	日	月	火	水	木	金	土
令和5年	4月	1	2	3	4	5	6	7	8
		2	9	10	11	12	13	①	15
		3	16	17	18	19	20	21	22
		4	23	②	25	26	27	②	29
	5月	1	30						
		2		1	2	3	4	5	6
		3	7	8	9	10	11	12	13
		4	14	15	16	17	18	①	20
	6月	1	21	22	23	24	25	26	27
		2	28	②	30	31			
		3						1	②
		4	4	5	6	7	8	9	10
7月	1	11	12	13	14	15	①	17	
	2	18	19	20	21	22	23	24	
	3	25	②	27	28	29	30		
	4								

- 実習期間
- 休日・祝日
- 大学でまとめ
- レポート提出日
- 合同授業
- スキー合宿

学内教室窓口担当者と事前連絡事項等

	講座名	役職	氏名(敬称略)	電話番号	事前連絡事項等
1	内科学第一教室	助教	タテシ カズナリ 立石 一成	■	初日は、8:00に内科学第一教室医局に集合。 各人、学務でPHSを借りておくこと。
2	内科学第二教室	助教	オグチ タカヤ 小口 貴也	■	初日は、7:40に医局(臨床棟5F)に集合。
3	内科学第三教室	助教	タカソネ ケン 高曾根 健	■	初日は9:00に西7階病棟カンファレンスルームに集合。
4	内科学第四教室	講師	オオイワ アコ 大岩 亜子	■	集合時間や場所についてはe-Alpsを参照のこと。
5	内科学第五教室	助教	オカノ タカヒロ 岡野 孝弘	■	初日は、8:15に西8階病棟カンファレンスルームに集合。
6	精神医学教室	助教	ナカムラ トシノリ 中村 敏範	■	初日は、8:15に旭町病棟ステーションに集合。
7	子どものこころ診療部	助教	シライシ ケン 白石 健	■	初日は、8:15に旭町病棟ナースステーションに集合。
8	小児医学教室	講師	ヒラハヤシ コウイチ 平林 耕一	■	初日は、8:30に小児科図書室に集合。学務でPHSを借りておくこと。
9	皮膚科学教室	助教	ナカムラ ケンタ 中村 謙太	■	集合場所と時間については毎回eALPSに掲示します。
10	画像医学教室	助教	コまつ ダイスケ 小松 大祐	■	初日は、7:30に放射線科(画像医学)医局に集合。
11	外科学 消化器・移植・小児外科学分野	助教	コヤマ マコト 小山 誠	■	初日は、8:45に西5階病棟カンファレンス室に集合。
12	外科学 心臓血管外科学分野	助教	イチムラ ハジメ 市村 創	■	初日は8:00に医局カンファレンスルーム(臨床棟7階)に集合。
13	外科学 呼吸器外科学分野	准教授	ハマナカ カズトシ 濱中 一敏	■	e-Alpsを確認すること
14	外科学 乳腺内分泌外科学分野	助教	オオハシ タカアキ 大場 崇旦	■	初日はAM 8:00に外科学教室医局 6Fトレーニングセンターに集合。
15	運動機能学教室	准教授	テンショウ ケイジ 天正 恵治	■	初日は整形外科医局図書室に朝7時20分に集合。
16	脳神経外科学教室	助教	フジイ ユウ 藤井 雄	■	初日はAM8:00に脳神経外科医局に集合。PHSを学務第1係で借りておくこと。

	講座名	役職	氏名(敬称略)	電話番号	事前連絡事項等
17	泌尿器科学教室	准教授	オガワ テルユキ 小川 輝之	■■■■	初日は、9:30に泌尿器科医局に集合。
18	眼科学教室	講師	クオワ トオル 黒川 徹	■■■■	e-Alpsを確認のこと。PHSを借りておくこと。
19	耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室	助教	イワサ ヨウイチロウ 岩佐 陽一郎	■■■■	初日は、8:00に耳鼻咽喉科医局に集合。
20	産科婦人科学教室	助教	アンドウ ヒロミ 安藤 大史	■■■■	初日は8:45に産婦人科医局に集合。学務でPHSを借りておくこと。
21	麻酔蘇生学教室	助教	オガワ マリエ 小川 麻理恵	■■■■	初日は、7:30に中央手術部麻酔科カンファレンス室に集合。
22	形成再建外科学教室	講師	ツネカワ カズヒロ 常川 主裕	■■■■	初日が月曜日の場合は7:30に形成外科医局に集合。月曜日以外の場合は、担当者へ各自で問い合わせること。
23	病態解析診断学教室	講師	イワヤ マイ 岩谷 舞	■■■■	初日は、8:00に臨床検査部カンファレンスルームに集合。
24	救急集中治療医学教室	講師	カシマ ユウイチロウ 嘉嶋 勇一郎	■■■■	初日は 8:30 にサービス棟2階救命救急センターカンファレンス室に集合
25	地域医療推進学教室	准教授	ナカザワ ユウイチ 中澤 勇一	■■■■	まとめについては■■■■まで問い合わせること。
26	血液・腫瘍内科学教室 (腫瘍内科)	教授	コイズミ トモフ 小泉 知展	■■■■	初日は8:00に西2階カンファレンスルームに集合。PHSを持参すること。
27	血液・腫瘍内科学教室 (血液内科)	講師	ナカザワ ヒデユキ 中澤 英之	■■■■	初日は8:30に東7階ナースステーション集合。PHSを持参すること。
28	緩和ケアセンター	教授	マミヤ ケイコ 間宮 敬子	■■■■	まとめについては■■■■へ問い合わせること。
29	総合診療科	講師	クマガイ ミエコ 熊谷 美恵子	■■■■	実習1週間前にメールで事前連絡をする。 @shinshu-u.ac.jpのメールを必ず確認すること。 各人、学務第1係でPHSを借りておくこと。

教育協力病院窓口

ご担当者は変更になる場合がある。e-Alpsで最新情報を確認すること。

北信

	病院名・問合せ電話番号	所属 お名前(敬称略)	事前連絡期限・事前連絡事項 メール記載がある場合はメールでの問い合わせも可。
1	愛和病院 [REDACTED]	事務長 [REDACTED]	実習開始2週間前まで [REDACTED]
2	飯山赤十字病院 [REDACTED]	総務課 [REDACTED]	実習開始日直前の平日 [REDACTED]
3	長野県立信州医療センター [REDACTED]	事務部 [REDACTED]	実習開始1週間前まで [REDACTED]
4	長野市民病院 [REDACTED]	医療秘書室 [REDACTED]	実習開始1週間前まで [REDACTED]
5	長野赤十字病院 [REDACTED]	医師業務支援課 [REDACTED]	実習開始2週間前まで [REDACTED]
6	長野松代総合病院 [REDACTED]	臨床研修センター [REDACTED]	実習開始2週間前まで 送付される「医学生実習の手引き」を確認すること。
7	北信総合病院 [REDACTED]	秘書課 [REDACTED]	実習開始1週間前まで [REDACTED]
8	南長野医療センター篠ノ井 総合病院 [REDACTED]	臨床研修センター [REDACTED]	実習開始2週間前まで [REDACTED]

東信

	病院名・問合せ電話番号	所属 お名前(敬称略)	事前連絡期限・事前連絡事項 メール記載がある場合はメールでの問い合わせも可。
1	浅間総合病院 [REDACTED]	総務課 総務係 [REDACTED]	実習開始1週間前まで [REDACTED]
2	浅間南麓こもろ医療センター [REDACTED]	総務人事課 [REDACTED]	実習開始1週間前まで [REDACTED]
3	鹿教湯三才山リハビリテーション センター-鹿教湯病院 [REDACTED]	医局事務 [REDACTED]	実習開始3週間前まで [REDACTED]
4	国保依田窪病院 [REDACTED]	診療部秘書 [REDACTED]	実習開始2週間前まで [REDACTED]

5	小諸高原病院 [Redacted]	医局 [Redacted]	実習開始2週間前まで [Redacted]
6	佐久総合病院 [Redacted]	人材育成推進室 [Redacted]	実習開始1ヶ月前 [Redacted] 宿泊と自家用車使用の有無を必ず連絡すること。
7	佐久医療センター [Redacted]	人材育成推進室 [Redacted]	実習開始1ヶ月前 [Redacted] 宿泊と自家用車使用の有無を必ず連絡すること。
8	信州上田医療センター [Redacted]	地域医療教育センター [Redacted]	遅くとも実習開始2週間前までにメールすること。 [Redacted] 宿泊と自家用車使用の有無を必ず連絡すること。
9	丸子中央病院 [Redacted]	人事課 [Redacted]	実習開始3週間前まで [Redacted]

中信

	病院名・問合せ電話番号	所属 お名前(敬称略)	事前連絡期限・事前連絡事項 メール記載がある場合はメールでの問い合わせも可。
1	相澤病院 [Redacted]	医学研修部門 事務課 [Redacted]	実習開始10日前まで [Redacted] 連絡日が祝日等の場合は翌日に電話連絡すること。
2	安曇野赤十字病院 [Redacted]	総務課 [Redacted]	実習開始1週間前まで [Redacted]
3	北アルプス医療センターあづみ病院 [Redacted]	医療秘書室 [Redacted]	実習開始2週間前まで [Redacted] 宿泊希望の場合は早めに連絡すること。
4	市立大町総合病院 [Redacted]	総務課 人事係 [Redacted]	実習開始2週間前まで [Redacted]
5	長野県立木曽病院 [Redacted]	事務部 総務課総務係 [Redacted]	実習開始2週間前まで [Redacted]
6	長野県立こども病院 [Redacted]	総務課 総務係 [Redacted]	実習開始1ヶ月前 [Redacted]
7	まつもと医療センター [Redacted]	管理課 [Redacted]	実習開始1週間前まで e-Alpsに掲載の準備・注意等を必ず参照すること。
8	松本市立病院 [Redacted]	事務部 総務担当 [Redacted]	実習開始1週間前まで [Redacted]
9	丸の内病院 [Redacted]	医局事務 研修担当 [Redacted]	実習開始1週間前まで [Redacted]

南信

	病院名・問合せ電話番号	所属 お名前(敬称略)	事前連絡期限・事前連絡事項 メール記載がある場合はメールでの問い合わせも可。
1	飯田市立病院 [Redacted]	庶務課 庶務係 [Redacted] [Redacted]	実習開始1週間前まで [Redacted]
2	伊那中央病院 [Redacted]	総務課総務係 [Redacted] [Redacted]	実習開始1週間前まで [Redacted]
3	岡谷市民病院 [Redacted]	庶務課 [Redacted] [Redacted]	実習開始の1ヶ月前 [Redacted]
4	昭和伊南総合病院 [Redacted]	図書室 [Redacted] [Redacted]	実習開始1週間前まで [Redacted]
5	諏訪赤十字病院 [Redacted]	教育研修推進室 [Redacted] [Redacted]	実習開始2週間前まで [Redacted]
6	諏訪中央病院 [Redacted]	臨床研修・研究センター [Redacted] [Redacted]	実習開始3週間前まで [Redacted]
7	長野県立こころの医療センター駒ヶ根 [Redacted]	精神科研修・研究センター [Redacted] [Redacted]	実習開始1週間前まで [Redacted]
8	富士見高原病院 [Redacted]	人事課 [Redacted] [Redacted]	実習開始1週間前まで

県外

	病院名・問合せ電話番号	所属 お名前(敬称略)	事前連絡期限・事前連絡事項 メール記載がある場合はメールでの問い合わせも可。
1	上越総合病院 [Redacted]	教育研修センター [Redacted] [Redacted]	実習開始1ヶ月前 [Redacted]
2	市立甲府病院 [Redacted]	総務課 [Redacted] [Redacted]	実習開始2週間前まで [Redacted]

臨床実習の評価について（指導医・評価者へのお願い）

提出物		学生からの提出タイミング	備考
①	F 票	実習初日に指導医に提出。	指導医は、過去に経験した症候・医行為をご確認後、出席票の確認欄にサインまたは押印をお願いします。内容確認後、学生にご返却下さい。
②	出席表	毎日指導医に提出。 まとめ時に担当教室に提出。	指導医は日々の出席確認のサイン（押印）をお願いします。第1週と第3週にアドバイスのご記入をお願いします。
③	実習評価票	実習最終水曜日に指導医に提出。 学内実習の場合は、まとめまで教室で保管する。 教育協力病院実習の場合は、まとめ時に学生が教室に持参する。	担当患者の主治医による評価をお願いします。 入院の場合の評価は、患者の主治医でも可です。
④	C 票・D 票	経験した都度、指導医に提出。	指導医は日々の経験を確認し、サインをお願いします。
⑤	担当症例一覧	2週目終了時と、実習終了時に指導医に提出。 まとめ時にまとめ担当教室に提出。	上級医コメント欄にご記入をお願いします。
⑥-a ⑥-b	行動レポート 学習レポート	実習第3週中に指導医に提出。	学生は指導医からの助言をもとにレポートを修正し、提出締切日までに自らのまとめ教室に提出する。
⑦	ループリック	実習3週を終えた月曜日9:00までに⑤-a、⑤-bに添付して、まとめ教室へ提出。	まとめ担当教室は、表に基づき、提出レポートの評価をお願いします。
⑧	ポートフォリオ*	まとめ時に担当教室に提出。	

*ポートフォリオとは、学習や行動の記録に振り返り(学生自身が考える問題点や今後の課題、それを解決するための方法等)を加えて整理したものです。従来の報告に振り返りを加えることで実習をより有意義なものとし、また、実習態度や学習意欲についての評価も可能になります。

レポート等の提出について

- ・ 学生は、実習第3週中に⑥-a 行動レポートと⑥-b 学習レポートを指導医の先生に提出します。指導医の先生は各提出レポートの内容をご確認ください。また、助言などありましたら、学生へご指導ください。
- ・ 学生は指導医からの助言をもとにレポートを修正し、実習3週を終えた月曜日9時までに、⑥-a 行動レポート、⑥-b 学習レポート、⑦ループリックを一式としてまとめ担当教室に提出します。
- ・ 教室の評価者は提出されたレポートについて、まとめ当日までに「評価基準表(ループリック)」を基に評価をしてください。
- ・ 提出されたレポートがループリックに記載の受理条件を満たしていない場合には、レポート提出の翌々日の午前中までに学務第1係に転送して下さい。不受理学生のまとめは、医学教育研修センターで担当します。

「まとめ」について

- ・ ⑥-a 行動レポートについて、学生自身が挙げた課題がどのように変化したかを確認してください。どうか、学生を過度に批判せず、良い点があれば評価してください。
- ・ ⑥-b 学習レポートに記載されていた症例に関連する知識を参加学生全員に確認してください。また、学習レポート作成後に経験した症例などについてたずねてください。

「最終評価について」

- ・ 最終評価者は、提出物及び「まとめ」の状況を勘案して実習の最終評価をお願いします。
- ・ なお、実習は原則としてすべて出席することになっております。欠席がある場合には、欠席理由の確認をし、必要であれば最終評価に反映してください。

「まとめ」終了後

- ・ 提出物②③は、まとめ終了後1週間以内に学務第1係までご提出下さい。
- ・ 提出物④⑤⑥⑦⑧は、まとめ終了後に学生に返却して下さい。

提出レポートの評価基準表(ループリック)

学籍番号

学生氏名:

【評価者の先生へお願い】

□に✓をし、レポートの評価をしてください。この基準表は、レポートと共に学生に返却して下さい。

レポート受理の条件

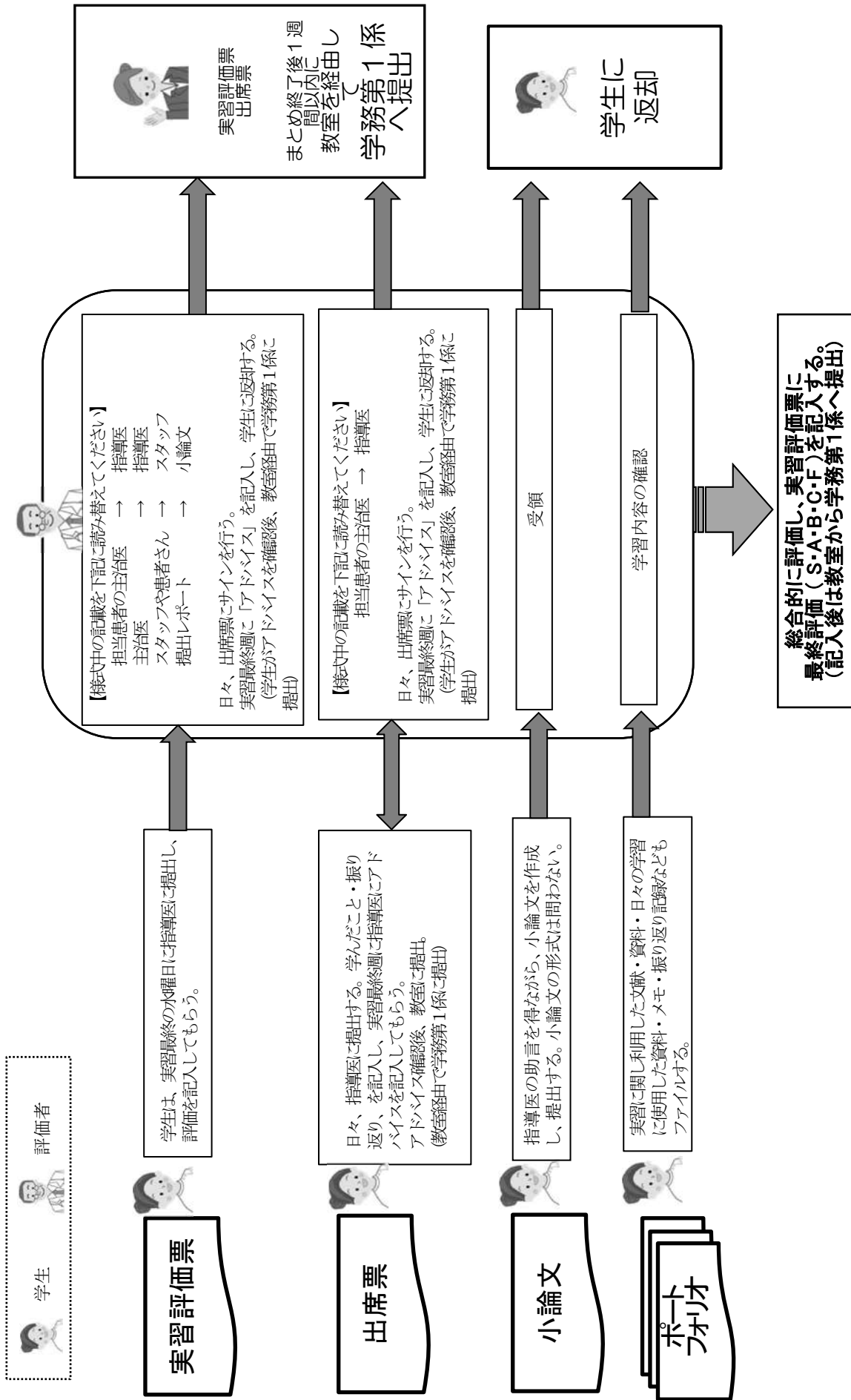
- 所定のフォーマットを用い、各項目を指定された字数の範囲に収めること。
- 小見出しなどを設けて構造化してあること。
- 誤字、脱字、文体の不一致等がなく、読みやすいこと。
- 学習レポートに引用した参考資料のリストが信州医学雑誌方式にて記載されていること。
- ※ 不受理に該当する場合は、レポート提出日の翌々日の午前中までに提出先教室から学務第1係迄転送して下さい。

内容の評価：「標準を満たさないレベル」が2項目以上はレポート評価を(不可)とする。

		優れているレベル (優)	標準レベル (可)	標準を満たさないレベル(不可)		
学習レポート	1	/	<input type="checkbox"/> 下記項目を記載している*。 ・ 主病名 ・ 診断過程 ・ 治療方針、経過 ・ 主病名以外の医学的問題点	<input type="checkbox"/> 欠落項目がある。 <input type="checkbox"/> カルテを写したと思われる。(不必要なデータが羅列されている。) <input type="checkbox"/> 規定された量から大きく逸脱している。		
	※病理、放射線、麻酔などの実習で本項目の診療に関わらなかった場合は、評価を省略する。					
	2		<input type="checkbox"/> 診断と治療について、正確な考察に加え、自らの考えを理論的に記述している。	<input type="checkbox"/> 診断と治療について、正確な考察をしている。	<input type="checkbox"/> 考察に重大な誤りがある、あるいは考察が規程字数以下である。	
	3		<input type="checkbox"/> 自らに必要な知識・技能を身につけるための具体的な取り組みについて記載している。	<input type="checkbox"/> 自らに必要な知識や技能について言及している。	<input type="checkbox"/> 自らの知識・技能についてほとんど記述がない。	
	参考資料	<input type="checkbox"/> 教科書やその他の学術文献を5編以上用い、理論やevidenceに基づいた正確な考察をしている。	<input type="checkbox"/> 教科書を含めて3編以上の資料を基に考察している。	<input type="checkbox"/> 資料が3編未満あるいはすべて非専門的情報源からの引用である。		
行動レポート	1	/	/	<input type="checkbox"/> 印象的な出来事について、わかりやすく記載されている。	<input type="checkbox"/> どのような出来事であったかわかりにくい。	
	2			<input type="checkbox"/> できごとが起こったときの自身の気持ちを、深く追求して記載している。	<input type="checkbox"/> どのような気持であったかわかりにくい。	
	3			<input type="checkbox"/> 原因が明確になるような分析を行い、原因と自身の関係が明確に記載されている。	<input type="checkbox"/> 原因は明確にされているが、十分な自己評価がなされておらず、自身との関連性が記されていない。	<input type="checkbox"/> 原因が明確にされていない。
	4			<input type="checkbox"/> 分析の結果をもとに、医療者として必要な医療技術、態度、ノンテクニカルスキルに関する気づきがあったことが記載されている。	<input type="checkbox"/> 分析の結果をもとに、自身に関する気づきがあったことが記載されているが、社会人として“当然”身に付けるべき内容にとどまっている。	<input type="checkbox"/> 何を学べたかが明確になっていない。
	5			<input type="checkbox"/> 自身が目指す医師像を明確にしたうえで、「4」をもとに心掛けることが、主体的かつ具体的に記載されている。	<input type="checkbox"/> 自身が目指す医師像が記載されていない、あるいは「4」をもとに心掛けることが、主体性、具体性を欠く。	<input type="checkbox"/> 心掛けることが主体性あるいは具体性を欠き、かつ「4」との関連性が明確でない。

評価者氏名:

提出物と評価の流れ(基礎教室)



4医看第161号
令和4年(2022年)8月17日

厚生労働省医政局長 様

長野県健康福祉部長 福田 雄



地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和4年8月10日付け4文科高第627号、医政発0810第4号に基づき、下記のとおり、令和5年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

20名

- ・信州大学医学部における地域枠：15名
- ・東京医科歯科大学医学部における地域枠：5名

健康福祉部 医師・看護人材確保対策課 医師係

